

注意

この情報は昨年度の入試情報です。

2012年度

龍谷大学

大学院入学試験要項

| | |
|----------------------------------|----|
| 龍谷大学 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー) | 1 |
| 入学定員 | 6 |
| 入試スケジュール | 7 |
| 共通事項 | 9 |
| 入学試験要項 | |
| 文学研究科 | 11 |
| 法学研究科 | 15 |
| 経済学研究科 | 19 |
| 経営学研究科 | 23 |
| 社会学研究科 | 27 |
| 理工学研究科 | 31 |
| 国際文化学研究科 | 34 |
| 実践真宗学研究科 | 36 |
| 政策学研究科 | 40 |
| 学費等 | 44 |

龍谷大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

○文学研究科

文学研究科では、建学の精神に基づき、各専攻領域に関わる文献資料・史料に依拠し、確固たる基礎学力を養成する。また本学の豊富な蔵書と、専攻ごとに設置された合同研究室を研究拠点として独創的かつ精緻な研究を継承発展させ、自立して研究活動を行うのに必要な高度な研究能力、又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を培う。これらの学力と能力を基礎として、さらに進んで学術の振興と文化の発展に寄与することを目指している。

また、本学を含む京都地区の宗教系大学の大学院が構成する「京都・宗教系大学院連合」の履修を通じて単位互換を実施している。また修士課程・博士後期課程ともに社会人入試を実施し、広く社会的要請にも応えている。

<修士課程>

修士課程では、広い視野に立って豊かな学識を身に付け、各専攻の学術の基本を修得した上で、さらに進んで各専攻分野における基礎的な研究能力を高め、加えて積極的な学術研究への取り組みを通じて、より高度な専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とし、洞察力に富んだ人材を養成することを目指している。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 専攻分野に関する基礎的な研究能力をもった人
- 積極的な学術研究に取り組みたいと考えている人
- 高度な専門性を活かした社会貢献を目指している人

<博士後期課程>

博士後期課程では、各専攻分野において、進取の気概をもって学術研究を推進し、研究者として自立した研究活動に従事することができ、加えて、より高度に専門的な学術業務に従事するのに必要な研究能力、及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目標とし、積極的に学術文化の向上と社会の発展に寄与する人材を養成する。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 研究者として自立した研究能力をもった人
- 高度な学術専門業務に従事しようと考えている人
- 積極的に学術文化の向上と社会発展に寄与することを目指している人

○法学研究科

<修士課程>

修士課程では、広い視野に立った深い学識と専攻分野における研究能力を育むことを通じて、研究者及び高度の専門性を要する職業人に必要な能力を涵養するという目標に照らして、次のような人を求めている。

- 大学における4年間の学修によって獲得された一般的教養と専門的教養の基礎の上に、さらに深い学識を得て、研究者及び高度の専門性を有する職業人になりたいと考える人
- 専攻分野における研究を進め、高度の専門性を要する職業上の実践にその専門性を発揮したいと考える人
- 世界と地域において協働を育み、共生（ともいき）社会の発展のための理論構築や実践を進めたいと考える人

<博士後期課程>

博士後期課程では、専攻分野において自立して研究活動を遂行し、職務を実践することができる研究者及び高度な専門知識を有する専門職業人の養成をめざして、次のような人を求めている。

- 修士課程における学修により培われた深い学識と研究能力を基礎に、専攻分野において自立して研究活動を遂行できる研究者になりたいと考える人
- 専攻分野における研究を進め、高度の専門性を要する職務の実践においてその専門性をいかして、職務上の課題を発見し、問題を解決する能力を獲得したいと考える人
- 現代社会が抱える複雑な諸問題について、その課題を発見、分析、解決し、具体的な解決案を提示して、世界、地域の構成員と協働して、現実の問題を解決することができるようになりたいと考える人

なお、研究科共同運営コースの「入学者受入れの方針」については、以下のとおりとする。

<NPO・地方行政研究コース（法学研究科・政策学研究科）>

NPO・地方行政研究コースでは、大学院学生が備えるべき能力として、①協働型社会の担い手に必要な実践的、実務的能力、②世代・職業分野をこえてコミュニケーションできる能力、③地域社会の潜在的力を引き出す分析能力と提言能力を挙げている。この観点から、次のような人を求めている。

- 協働型市民社会の担い手として、理論と実務を学び、地域社会の変革につなげたいと考える人
- 協働型市民社会を構成する人々がもつ多様な価値観の存在を意識し、多角的な視野をもち地域の課題に取り組む能力を身につけたいと考える人
- 専門に関わる経験あるいは知識をもち、理論と実務をつなぐ学修、研究環境において自らの能力を伸ばしたいと考える人

○経済学研究科

<修士課程>

修士課程では、研究者に求められる世界に対する理解と理論構築や応用分析の能力を養い、あるいは高度職業人に必要とされる高邁な理想と学問的知識に裏打ちされた実践能力を育てることを目指しており、次のような人を求めている。

- 世界と地域社会の平和と発展に貢献することを志し、受験資格を満たし、強い勉学意欲と、潜在力を持つ人
- 国際水準の研究あるいは高度な実務能力を持つエコノミストたらんとする人
- 公共的な活動（公的部門・営利部門あるいは非営利部門を問わない）においてリーダーを目指す人
- 活発で刺激的な学習環境をつくるため、経済学既習者以外にも門戸を開き、多様なバックグラウンドを持つ人を歓迎する

<博士後期課程>

博士後期課程では、国際水準の研究をおこないうる研究者の養成を通じて、世界と地域社会の平和と発展に貢献することを目的とし、次のような人を求めている。

- 世界と地域社会の平和と発展に貢献する意思のある人
- 世界に対する深い理解を持つ人
- 理論的知識と応用分析の基礎的な能力を持つ人
- 国際水準の研究を実現する潜在力のある人

○経営学研究科

<修士課程>

修士課程では、複雑な構造と機能をそなえた現代社会の要請にこたえる専門職業人及び研究者を育成するため、次のような人を求めている。

アカデミック・コースは、研究者養成を目的とし、以下のような人を求めている。

- 修士課程修了後に博士後期課程に進学し、自立した研究者として経営学の研究を深めていくことをめざしている人
- 研究を進めていく上で必要な経営学に関する基礎的で全般的な知識を有している人
- 研究を進めていく上で必要な外国語の能力を有している人

ビジネス・コースは、学部を卒業した後に、修士課程に在籍し、理論・実務の面から経営学をより深く学びことを目的とし、以下のような人を求めている。

- 学部において修得した経営学の基礎的な知識をさらに深めたいと考えている人
- 研究を進めていく上で必要な経営学に関する基礎的で全般的な知識を有している人

日中連携ビジネス・コースは、中国ビジネスに特化した人材の育成を目的とし、以下のような人を求めている。

- 将来中国で起業することをめざしている人
- 留学生で中国と日本のビジネスについて深く学びたいと考えている人

社会人ビジネス・コースは、社会人のビジネス経験を理論的に整理し、再教育することを目的とし、以下のような人を求めている。

- 職場でのビジネス経験を理論的に整理したいと考えている人
- 経営学について深く学びたいと考えている人

社会人課題研究型コースは、社会人が職場で直面している課題の解決をめざすことを目的とし、以下のような人を求めている。

- 職場で生起する問題を抽出し、その解決を経営学の視点から理論的に行いたいと考えている人

<博士後期課程>

博士後期課程では、複雑な構造と機能をそなえた現代社会の要請にこたえる自立した研究者を育成するため、次のような人を求めている。

- 経営学の特定の領域に関しての深い専門的知識を有している人
- 研究を進めていく上で必要な外国語の高い能力を有している人
- 自ら研究テーマを設定し、論文として執筆していく能力を有している人

○社会学研究科

◇社会学専攻

<修士課程>

修士課程では、複雑で多様な現代社会の諸問題を分析できる社会学的な学識と能力を有する専門社会調査士や職業ジャーナリストのような高度専門職業人および研究者を育成することを目的とし、現実社会に対応した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 様々な現代社会の諸問題を、社会学的視点から研究したいと考えている人
- 社会学理論と社会調査法についての基礎的な知識や能力を有する人
- 社会学理論や社会調査の知識や能力を実践的に活かせる職場への就職、また職業ジャーナリストを目指している人

<博士後期課程>

博士後期課程では、高度で創造的研究を行うことのできる自立した研究者を育成することを目的とし、社会学およびジャーナリズム論の研究領域で価値ありと認められる研究成果を生み出す能力を有する人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 様々な現代社会の諸問題に関して、修士課程での研究を基盤に、より高度なレベルでの社会学的研究に取り組みたいと考えている人
- 社会学理論や社会調査法の理解力と分析能力を有する人
- 大学や研究機関等、高度な研究能力を必要とする職場への就職を目指している人

◇社会福祉学専攻

<修士課程>

修士課程では、現代社会における社会福祉学の専門性と実践性を兼ね備えた高度専門職業人および研究者を育成することを目的とし、現実の社会福祉問題に直結した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 複雑な社会福祉問題を、社会福祉学的視点から研究したいと考えている人
- 社会福祉学理論と社会福祉実践について基礎的な知識や能力を有する人
- 高度専門職業人として社会福祉学的知識や社会福祉実践についての能力を実践的に活かせる場への就職を目指している人

<博士後期課程>

博士後期課程では、社会福祉学の研究方法を身につけ、創造的で自立した研究者を育成することを目的とし、社会福祉問題の分析における高度の研究能力を有する人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 様々な社会福祉問題に関して、修士課程での研究を基盤に、より高度なレベルでの社会福祉学的研究に取り組みたいと考えている人
- 社会福祉学理論や社会福祉実践についての理解力と分析能力を有する人
- 大学や研究機関等高度な研究能力を必要とする職場、あるいは専門職業人としての高度な実践能力を必要とする職場への就職を目指している人

○理工学研究科

<修士課程>

修士課程では、自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力と専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- 専門分野の研究に対し明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- 持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

<博士後期課程>

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 自立して専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

○国際文化学研究科

<修士課程>

修士課程では、国際文化学に立脚し、各自の専門性を活かした職業を担うことができる人材を育成するため、次のような人を求めている。

- 自らの研究テーマを国際文化学の理論と方法論で研究することを目指す人
- 国際社会で自らの専門性や実践能力を示そうと志す人

<博士後期課程>

博士後期課程では、高度な専門性や学識、研究能力が要求される国内外の研究機関にて活躍し、国際文化学の発展に貢献できる人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 国際文化学に立脚した専門分野において、自立した研究を目指す人
- 多様化した国際社会で、創造性・独創性のある研究活動を志す人

○実践真宗学研究科

本研究科では、仏教（真宗）の教学・教義を基礎として、現代の宗教的かつ社会的な諸問題に対応するとともに、より高度な実践能力を持ちうる宗教的实践者を養成するため、次のような人を求めている。

- 現代の社会的要請をふまえ、仏教（真宗）を基盤とした宗教実践・社会実践に高い関心を持っている人
- 個人や社会が直面する諸問題について解決の方策を専門的に研究する意欲があり、宗教的实践者として現代社会に貢献することへ高い志と熱意を持つ人
- 地域社会や世界各地において、仏教（真宗）を基盤とした宗教実践や社会実践を行うエキスパートとなることを目指す人

○政策学研究科

<修士課程>

修士課程では、社会の持続可能な発展に貢献し、地域がかかえる具体的課題を解決することができる政策能力の修得を通じて、協働型社会を担う高度の専門的職業人や研究者を養成するため、次のような人を求めている。

- 人類的及び地域的課題の解決に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献するために政策学を研究したいと考えている人
- 公共政策分野における高度の専門的職業人をめざす人、及び広く公共政策に関わる業務に携わりより専門性の高い能力を修得したいと考えている人
- 地方自治体やNPO等で働きながら、政策学を研究したいと志望する人
- 職場でのキャリアアップをはかり、実務の現場で必要なコミュニケーションやファシリテーションのスキル修得に高い関心を持っている人

<博士後期課程>

博士後期課程では、社会の持続可能な発展について深く考察し、人類的及び地域的課題の解決に必要な政策学の知識と構想力を身につけた研究者、及びより高度の専門的職業人を養成するため、次のような人を求めている。

- 人類的及び地域的課題の解決に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献するために政策学を研究したいと考えている人
- 政策学についての優れた知識と、政策課題の分析や政策立案に関するより高度な専門的能力を修得したいと考えている人
- 参加や協働に求められるより高度な専門的能力を獲得し、課題解決志向の実践的な政策学を修得したいと考えている人

入学定員

◆修士課程 入学定員

| 研究科 | 専攻 | 修士課程入学定員 | 修士課程定員内の社会人入学定員 |
|----------|-----------------------|-------------------|-----------------|
| 文学研究科 | 真宗学専攻 | 20名 | 若干名 |
| | 仏教学専攻 | 20名 | 若干名 |
| | 哲学専攻 | 7名 | 若干名 |
| | 教育学専攻 | 7名 | 若干名 |
| | 臨床心理学専攻 ^{*1} | 10名 | 若干名 |
| | 日本史学専攻 | 7名 | 若干名 |
| | 東洋史学専攻 | 7名 | 若干名 |
| | 日本語日本文学専攻 | 7名 | 若干名 |
| | 英語英米文学専攻 | 7名 | 若干名 |
| 法学研究科 | 法律学専攻 ^{*2} | 25名 | 20名以内 |
| 経済学研究科 | 経済学専攻 ^{*3} | 24名 | 8名 |
| 経営学研究科 | 経営学専攻 | 30名 | 22名以内 |
| 社会学研究科 | 社会学専攻 | 10名 | 4名 |
| | 社会福祉学専攻 | 10名 | 4名 |
| 理工学研究科 | 数理情報学専攻 | 25名 | 社会人入試は実施しません。 |
| | 電子情報学専攻 | 25名 | |
| | 機械システム工学専攻 | 25名 | |
| | 物質化学専攻 | 25名 | |
| | 情報メディア学専攻 | 20名 | |
| | 環境ソリューション工学専攻 | 20名 | |
| 国際文化学研究科 | 国際文化学専攻 ^{*4} | 12名 | 社会人入試は実施しません。 |
| 実践真宗学研究科 | 実践真宗学専攻 | 30名 ^{*5} | 若干名 |
| 政策学研究科 | 政策学専攻 | 20名 | 15名以内 |

※1 2011年度までの教育学専攻臨床心理学領域は「財団法人日本臨床心理士資格認定協会」から1種指定校として認定を受けており、引き続き、2012年度より臨床心理学専攻も認定されます。(届出済)
詳細は文学部教務課へお問い合わせください。(TEL: 075-343-3317)

なお、臨床心理学専攻の授業科目は夜間開講されません。

※2 (1)法学研究科のNPO・地方行政研究コースには定員があります。NPO・地方行政研究コースに所属を希望する場合は、入学後にコース所属の選考を行います。
(2)法学研究科の「税法をテーマとする修士論文希望者」が多数の場合には、入学後選抜を行うことがあります。

※3 9月入学として別途6名の定員枠があります。

※4 9月入学として別途3名の定員枠があります。

※5 実践真宗学研究科の募集人員の内訳は、自己推薦入試(秋期入試)15名・春期入試15名です。

◆博士後期課程 入学定員

| 研究科 | 専攻 | 博士後期課程入学定員 |
|----------|---------------|-----------------|
| 文学研究科 | 真宗学専攻 | 5名 |
| | 仏教学専攻 | 5名 |
| | 哲学専攻 | 2名 |
| | 教育学専攻 | 3名 |
| | 臨床心理学専攻 | 2名 |
| | 日本史学専攻 | 2名 |
| | 東洋史学専攻 | 2名 |
| | 日本語日本文学専攻 | 2名 |
| | 英語英米文学専攻 | 2名 |
| 法学研究科 | 法律学専攻 | 5名 |
| 経済学研究科 | 経済学専攻 | 3名 |
| 経営学研究科 | 経営学専攻 | 3名 |
| 社会学研究科 | 社会学専攻 | 3名(社会人入学定員 若干名) |
| | 社会福祉学専攻 | 3名(社会人入学定員 若干名) |
| 理工学研究科 | 数理情報学専攻 | 3名 |
| | 電子情報学専攻 | 3名 |
| | 機械システム工学専攻 | 3名 |
| | 物質化学専攻 | 3名 |
| | 情報メディア学専攻 | 2名 |
| | 環境ソリューション工学専攻 | 2名 |
| 国際文化学研究科 | 国際文化学専攻 | 4名 |
| 政策学研究科 | 政策学専攻 | 3名 |

入試スケジュール

◆修士課程

| 研究科 | 試験種別 | | 出願期間 締切日消印有効 | 試験日 | 合格発表 | 入学手続期間 | |
|--------|------|---------|---|--------------------------------------|-------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| | | | | | | 入学手続Ⅰ | 入学手続Ⅱ |
| 文学研究科 | 秋期試験 | 一般入試 | 2011年 8月18日(木) ～8月24日(水) | 2011年 9月17日(土) 龍谷大学 大宮キャンパス | 2011年 9月30日(金) | 2011年 9月30日(金) ～10月6日(木) | 2012年 2月17日(金) ～3月6日(火) |
| | | 社会人入試 | | | | | |
| | 春期試験 | 一般入試 | 2012年 1月10日(火) ～1月20日(金) | 2012年 2月18日(土) 龍谷大学 大宮キャンパス | 2012年 2月24日(金) | 2012年 2月24日(金)～3月6日(火) | |
| | | 社会人入試 | | | | | |
| 法学研究科 | 秋期試験 | 一般入試 | 2011年 8月18日(木) ～8月24日(水) | 2011年 9月17日(土) 龍谷大学 深草キャンパス | 2011年 9月30日(金) | 2011年 9月30日(金) ～10月6日(木) | 2012年 2月17日(金) ～3月6日(火) |
| | | 社会人入試 | | | | | |
| | 春期試験 | 一般入試 | 2012年 1月10日(火) ～1月20日(金) | 2012年 2月18日(土) 龍谷大学 深草キャンパス | 2012年 2月24日(金) | 2012年 2月24日(金)～3月6日(火) | |
| | | 社会人入試 | | | | | |
| 経済学研究科 | 秋期試験 | 一般入試 | 2011年 8月18日(木) ～8月24日(水) ※帰国学生は 締切日必着 | 2011年 9月17日(土) 龍谷大学 深草キャンパス | 2011年 9月30日(金) | 2011年 9月30日(金) ～10月6日(木) | 2012年 2月17日(金) ～3月6日(火) |
| | | 社会人入試 | | | | | |
| | | 帰国学生入試 | | | | | |
| | 春期試験 | 一般入試 | 2012年 1月10日(火) ～1月20日(金) | 2012年 2月18日(土) 龍谷大学 深草キャンパス | 2012年 2月24日(金) | 2012年 2月24日(金)～3月6日(火) | |
| | | 社会人入試 | | | | | |
| | | 飛び級制度入試 | | | | | |
| 経営学研究科 | 秋期試験 | 一般入試 | 2011年 8月18日(木) ～8月24日(水) | 2011年 9月17日(土) 龍谷大学 深草キャンパス | 2011年 9月30日(金) | 2011年 9月30日(金) ～10月6日(木) | 2012年 2月17日(金) ～3月6日(火) |
| | | 社会人入試 | | | | | |
| | 春期試験 | 一般入試 | 2012年 1月10日(火) ～1月20日(金) | 2012年 2月18日(土) 龍谷大学 深草キャンパス | 2012年 2月24日(金) | 2012年 2月24日(金)～3月6日(火) | |
| | | 社会人入試 | | | | | |

※経営学研究科の一般入試は「アカデミック・コース」「ビジネス・コース」「日中連携ビジネス・コース一般」の各入学試験、社会人入試は「社会人ビジネス・コース」「社会人ビジネス・コース特別」「日中連携ビジネス・コース社会人」「日中連携ビジネス・コース特別」「社会人課題研究型コース」の各入学試験を指します。なお「社会人課題研究型コース」入試は春期試験のみの募集となります。

※法学研究科修士課程 アジア・アフリカ総合研究プログラム入試により合格した出願者は、大学院入学後、アジア・アフリカ総合研究プログラムに所属し、その専門領域で修士論文を作成することとなります。

※法学研究科修士課程 一般入試及び社会人入試に合格した出願者も、入学後アジア・アフリカ総合研究プログラムに進学し、学修することができます。

◆修士課程

| 研究科 | 試験種別 | | 出願期間 締切日消印有効 | 試験日 | 合格発表 | 入学手続期間 | |
|----------|------|---------------|--------------------------------|--|--------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| | | | | | | 入学手続Ⅰ | 入学手続Ⅱ |
| 社会学研究科 | 秋期試験 | 一般入試 | 2011年 8月18日(木) ～8月24日(水) | 2011年 9月17日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス | 2011年 9月30日(金) | 2011年 9月30日(金) ～10月6日(木) | 2012年 2月17日(金) ～3月6日(火) |
| | | 社会人入試 | | | | | |
| | 春期試験 | 一般入試 | 2012年 1月10日(火) ～1月20日(金) | 2012年 2月18日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス | 2012年 2月24日(金) | 2012年 2月24日(金)～3月6日(火) | |
| | | 社会人入試 | | | | | |
| 理工学研究科 | 秋期試験 | | 2011年 8月18日(木) ～8月24日(水) | 2011年 9月3日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス | 2011年 9月9日(金) | 2011年 9月9日(金) ～9月15日(木) | 2012年 2月17日(金) ～3月6日(火) |
| | 春期試験 | | 2012年 1月10日(火) ～1月20日(金) | 2012年 2月18日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス | 2012年 2月24日(金) | 2012年 2月24日(金)～3月6日(火) | |
| 国際文化学研究科 | 秋期試験 | | 2011年 9月26日(月) ～10月3日(月) | 2011年 10月15日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス | 2011年 10月21日(金) | 2011年 10月21日(金) ～10月27日(木) | 2012年 2月17日(金) ～3月6日(火) |
| | 春期試験 | | 2012年 1月10日(火) ～1月20日(金) | 2012年 2月18日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス | 2012年 2月24日(金) | 2012年 2月24日(金)～3月6日(火) | |
| 実践真宗学研究科 | 秋期試験 | 自己推薦入試 | 2011年 8月18日(木) ～8月24日(水) | 第2次選考 9月24日(土) 龍谷大学大宮キャンパス 第3次選考 11月5日(土) 龍谷大学大宮キャンパス | 2011年 11月11日(金) | 2011年 11月11日(金) ～11月17日(木) | 2012年 2月17日(金) ～3月6日(火) |
| | 春期試験 | 一般入試 社会人入試 | 2012年 1月10日(火) ～1月20日(金) | 2012年 2月19日(日) 龍谷大学 大宮キャンパス | 2012年 2月24日(金) | 2012年 2月24日(金)～3月6日(火) | |
| 政策学研究科 | 秋期試験 | 一般入試 | 2011年 8月18日(木) ～8月24日(水) | 2011年 9月17日(土) 龍谷大学 深草キャンパス | 2011年 9月30日(金) | 2011年 9月30日(金) ～10月6日(木) | 2012年 2月17日(金) ～3月6日(火) |
| | | 社会人入試 | | | | | |
| | 春期試験 | 一般入試 | 2012年 1月10日(火) ～1月20日(金) | 2012年 2月18日(土) 龍谷大学 深草キャンパス | 2012年 2月24日(金) | 2012年 2月24日(金)～3月6日(火) | |
| | | 社会人入試 | | | | | |

◆博士後期課程

| 研究科 | 出願期間 締切日消印有効 | 試験日 | 合格発表 | 入学手続期間 |
|------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|-------------------|---------------------------|
| 文学研究科 | 2012年 1月10日(火) ～1月20日(金) | 2012年 2月21日(火) 龍谷大学 大宮キャンパス | 2012年 2月24日(金) | 2012年 2月24日(金)～3月6日(火) |
| 法学研究科 | | 2012年 2月18日(土) 龍谷大学 深草キャンパス | | |
| 経済学研究科 | | | | |
| 経営学研究科 | | | | |
| 社会学研究科 ※社会人入試も実施します | | | | |
| 理工学研究科 | | | | |
| 国際文化学研究科 | | 2012年 2月18日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス | | |

| 研究科 | 試験種別 | | 出願期間 締切日消印有効 | 試験日 | 合格発表 | 入学手続期間 | |
|--------|------|-------|--------------------------------|--------------------------------------|-------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| | | | | | | 入学手続Ⅰ | 入学手続Ⅱ |
| 政策学研究科 | 秋期試験 | 一般入試 | 2011年 8月18日(木) ～8月24日(水) | 2011年 9月17日(土) 龍谷大学 深草キャンパス | 2011年 9月30日(金) | 2011年 9月30日(金) ～10月6日(木) | 2012年 2月17日(金) ～3月6日(火) |
| | | 社会人入試 | | | | | |
| | 春期試験 | 一般入試 | 2012年 1月10日(火) ～1月20日(金) | 2012年 2月18日(土) 龍谷大学 深草キャンパス | 2012年 2月24日(金) | 2012年 2月24日(金)～3月6日(火) | |
| | | 社会人入試 | | | | | |

※博士後期課程は政策学研究科のみ秋期と春期、入学試験を実施します。

共通事項

出願資格の有無

1. 出願資格有無に関する確認および問い合わせは、下記の各研究科の窓口となる各学部教務課まで電話等で行ってください。(実践真宗学研究科の窓口は文学部教務課です)

【問い合わせ先】

| | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 文学部教務課：075-343-3317 | 社会学部教務課：077-543-7760 |
| 法学部教務課：075-645-7896 | 理工学部教務課：077-543-7730 |
| 経済学部教務課：075-645-7894 | 国際文化学部教務課：077-543-7670 |
| 経営学部教務課：075-645-7895 | ※月・水曜日～金曜日 9:00～11:45 12:45～17:30 |
| 政策学部教務課：075-645-2285 | 火曜日 11:00～11:45 12:45～17:30 |
| ※月・水曜日～金曜日 8:45～11:30 12:30～17:15 | |
| 火曜日 10:45～11:30 12:30～17:15 | |

2. 出願資格確認のために各学部教務課から書類の提出を求められた場合は、指示された書類を、出願開始日の2週間前までに簡易書留・速達で各学部教務課宛に郵送してください(ただし、社会学研究科博士後期課程についてはP29を、理工学研究科については、P31またはP33の「出願資格の確認」欄を参照)。
提出された書類により、出願資格有無の判定を行い、判定結果を通知します。
3. 外国人留学生について
 - (1)外国人留学生も本要項により出願することができます。
その場合は出願前に入試部(075-645-7887)までお問い合わせください(ただし、経済学研究科修士課程についてはP19を確認してください)。
 - (2)各研究科が定める出願書類の他に、「外国人留学生入学試験要項」に定める出願書類の提出が必要です。
 - (3)外国人留学生が本要項による入学試験に合格した場合、私費外国人留学生対象の「龍谷大学外国人(留学生)学費援助奨学生」(学費減免制度)については、入学後に所定の手続を経て決定されます(留学査証(ビザ)を持つ留学生のみ対象)。詳しくは国際部(075-645-7898)にお問い合わせください。

出願書類

1. 研究科、試験種別により出願書類およびその様式が異なります。
出願する研究科、試験種別所定の書類を提出してください。
2. 修士論文(コピー)・研究論文等の提出について
 - (1)修士論文(コピー)や研究論文等が本学所定の出願用封筒に封入できない場合は、本学所定の出願用封筒の様式に則り、市販の封筒にて簡易書留・速達で郵送してください。
 - (2)修士論文(コピー)は、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。
3. 出願資格によっては、所定の出願書類の他に適宜必要書類の提出を求められることがあります。
4. いったん提出された出願書類は、返却しません。
5. 各種証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、戸籍抄本を提出してください。

個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や可否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用するものです。また、入学試験合格者の氏名・住所は、各学部学会、龍谷大学親和会(保護者会)、龍谷大学学友会(在学生自治会)、龍谷大学校友会(同窓会組織)と共同利用します。以上の4組織以外の第三者に、本人の同意を得ることなく個人情報を提供することはありません。

※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<http://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

出願書類送付先

〒604-8799 日本郵便 中京支店留「龍谷大学入学試験願書受付センター」宛(郵送に限ります。)
※本学所定の封筒にて、簡易書留・速達で郵送してください。

受験料・納入方法

受験料 35,000円

1. 出願シートの振込依頼書に記入の上、金融機関(銀行等)窓口にて出願期間内に納入してください。
取扱金融機関収納印をもって納入とみなします。受験料領収書は本人控えです。
2. いったん納入された受験料は、受験意思の表明とみなし、返還しません。

受験票未着

試験日の3日前になっても受験票が到着しないときは、入試部までお問い合わせください。
龍谷大学入試部 TEL:075-645-7887(ダイヤルイン)

試験時の注意事項

各試験室において、試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合格発表

1. 合否結果は合格発表日付で本人宛に特定記録・速達で通知します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。
2. 合否結果に関する電話でのお問い合わせには一切応じられません。

入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類や手続方法を通知します。所定の期日までに入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

＜修士課程秋期試験・博士後期課程秋期試験（政策学研究科のみ）＞

1. **入学手続Ⅰ**の期間内（7・8ページ参照）に、入学申込金100,000円（修士課程社会人入試の場合：50,000円）を納入してください。
2. **入学手続Ⅱ**の期間内（7・8ページ参照）に、前期授業料等の入学時納入金から入学申込金を差し引いた金額を納入してください。
ただし、社会人入試で合格された本学修士課程出身者（経営学研究科は本学学部出身者を含む）は、入学手続Ⅱの期間での納入は不要となります。

＜修士課程春期試験・博士後期課程（政策学研究科については博士後期課程春期試験として実施します）＞

1. **入学手続期間**（7・8ページ参照）に、前期授業料等の入学時納入金を一括納入してください。
ただし、修士課程社会人入試で合格された本学修士課程出身者（経営学研究科は本学学部出身者を含む）は、入学申込金50,000円を一括納入してください。
※入学時納入金の内、入学申込金は100,000円（修士課程の社会人入試の場合：50,000円）となります。

注1. 手続期間経過後の入学手続は、いかなる事情があっても一切認めませんので充分注意してください。

2. 学費・諸会費については、44～48ページを参照してください。
3. 入学手続の詳細については、合格通知書送付の際、通知します。
4. いったん納入された入学申込金は返還しません。その他の入学時納入金の返還については、「授業料等返還制度」を参照してください。

授業料等返還制度

全ての入学手続完了後、入学を辞退される場合は、**2012年3月31日(土)15:00まで（提出書類必着）**に下記の要領で手続をしてください。所定の手続を完了されると、入学申込金を除く入学時納入金を返還します。

1. 提出書類
「入学辞退届・授業料等返還願」(本学所定用紙＝合格者に発送する「入学ハンドブック」に綴じ込み)
2. 受付番号取得
所定用紙提出前に、入試部に電話をして、受付番号を取得し、書類の所定の場所にその番号を記入してください。受付番号の記入していない書類は受理しません。
3. 提出先
龍谷大学入試部（深草キャンパス）
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 TEL：075-645-7887（ダイヤルイン）
*大宮、瀬田キャンパスでは受付をしていません。
4. 提出方法
郵送の場合は、**2012年3月31日(土)15:00までに到着するよう簡易書留・速達で送付**してください。
持参の場合は、**2012年3月31日(土)15:00までに提出**してください。
***2012年3月31日(土)15:00以降の受付は一切しません。**
5. 備考
「入学辞退届・授業料等返還願」を郵送された方には、到着後1～2週間程度で、受理通知を保証人宛に送付します。授業料等の返還金は、2012年4月末日までに指定の銀行口座に振り込みます。

注意事項

虚偽、不正な記載または出願資格に反する事実が明らかになった場合は、入学を取り消します。

文学研究科 修士課程

◆出願資格

文学研究科修士課程 一般入試

次の1から4のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

文学研究科修士課程 社会人入試

次の1から4のいずれかに該当するとともに、本大学院研究科入学時まで3年以上の職歴（家事従事者等を含む）を有する者で、2012年4月1日現在25歳以上の者

1. 大学を卒業した者または2012年3月卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

◆出願書類

文学研究科修士課程 一般入試

1. 出願シート（本学所定用紙）
2. 調査書（本学所定用紙・様式1）
※以下に該当する者は提出不要
・本学文学部の同一学科・専攻卒業生および卒業見込みの者
・本学文学部史学科仏教史学専攻の卒業生および卒業見込みの者で、日本史学専攻および東洋史学専攻に出願する者
3. 学部の卒業（見込）証明書
4. 学部の成績証明書
5. 試験科目選択シート（本学所定用紙）
※教育学専攻には、教育学領域と教育心理学領域があります。
志望する領域を「試験科目選択シート」に記入し提出してください。
※臨床心理学専攻は、実習を含む必修科目が多く、夜間に開講されている授業はありませんのでご注意ください。

文学研究科修士課程 社会人入試

1. 出願シート（本学所定用紙）
2. 志望理由書（本学所定用紙・様式2）
※出願先専攻選択理由を含む
3. 自己申告書（本学所定用紙・様式10）
4. 推薦書（本学所定用紙・様式12）
5. 研究計画書（本学所定用紙・様式15）
6. 学部の卒業（見込）証明書
7. 学部の成績証明書
8. 試験科目選択シート（本学所定用紙）
※教育学専攻には、教育学領域と教育心理学領域があります。
志望する領域を「試験科目選択シート」に記入し提出してください。
※臨床心理学専攻は、実習を含む必修科目が多く、夜間に開講されている授業はありませんのでご注意ください。

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 文学研究科修士課程 一般入試 | | 試験時間 |
|----------------|--|-------------|
| 書類記入 | | 9:00～9:30 |
| 外国語筆答試験 | 英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択(ただし母語を除く) 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 《英語英米文学専攻》 英語に限ります。 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可 | 9:30～10:30 |
| 専門科目筆答試験 | (各専攻ごとにそれぞれの専門領域から出題) 【専攻により下記の語学等を含む。】 《真宗学専攻》 仏教漢文 《仏教学専攻》 仏教漢文 《教育学専攻》 志望専攻領域別(教育学領域・教育心理学領域)の出題となります。【「試験科目選択シート」に志望専攻領域を記入し提出してください。】 《日本史学専攻》 古典漢文 《東洋史学専攻》 外国語史料「古典漢文2題」または「古典漢文・英語」のいずれかを試験当日選択してください。 ★試験当日の科目変更不可 ★仏教学専攻・日本史学専攻は漢和辞典1冊のみ持ち込み可(ただし、電子辞書は不可) | 11:00～12:40 |
| 口述試験 | 各専攻ごと | 14:00～ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 文学研究科修士課程 社会人入試 | | 試験時間 |
|----------------------|--|-------------|
| 書類記入 | | 9:00～9:30 |
| 外国語筆答試験 | 英語、ドイツ語、フランス語、古典漢文から1科目選択(ただし母語を除く) 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 《哲学専攻》 《教育学専攻》 《臨床心理学専攻》 《英語英米文学専攻》 } 古典漢文以外を選択してください。 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可 | 9:30～10:30 |
| 専門科目筆答試験 あるいは論文試験 | 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 《真宗学専攻》 論文試験に限ります。 《教育学専攻》 志望専攻領域別(教育学領域・教育心理学領域)の出題となります。【「試験科目選択シート」に志望専攻領域を記入し提出してください。】 《臨床心理学専攻》 専門科目筆答試験に限ります。 《日本史学専攻》 論文試験に限ります。 ★試験当日の科目変更不可 ★仏教学専攻は漢和辞典1冊のみ持ち込み可(ただし、電子辞書は不可) | 11:00～12:40 |
| 口述試験 | 各専攻ごと | 14:00～ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

文学研究科 博士後期課程

◆出願資格

| |
|---|
| 文学研究科博士後期課程 |
| 次の1または2のどちらかに該当する者 1. 修士の学位を得た者および2012年3月修士の学位を得る見込みの者 2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者 |

◆出願書類

| |
|--|
| 文学研究科博士後期課程 |
| 1. 出願シート（本学所定用紙） 2. 調査書（本学所定用紙・様式1） ※本学文学研究科修士課程の同一専攻修了者および修了見込みの者は不要 3. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書 4. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書 5. 修士論文（コピー） 6. 修士論文要旨 3,200字以内（欧文の場合800 words 以内） 7. 今後の研究計画書（本学所定用紙・様式15）800字以内（欧文の場合200 words 以内） ※本学文学研究科修士課程修了者も提出してください。 8. 試験科目選択シート（本学所定用紙） |

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 文学研究科博士後期課程 ——教育学専攻・臨床心理学専攻以外の専攻—— | | 試験時間 |
|---|--|-------------|
| 書類記入 | | 8:40～9:00 |
| 外国語筆答試験 | 第1群：英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択（ただし母語を除く） 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ＜英語英米文学専攻＞ 英語に限ります。 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可 | 9:00～10:30 |
| 外国語筆答試験 （第2群①：英語、ドイツ語、フランス語） （第2群②：サンスクリット語、パーリ語、チベット語、仏教漢文） （第2群③：古典漢文） 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 | | 10:50～12:20 |
| 真宗学専攻 | 仏教漢文に限ります。 | |
| 仏教学専攻 | 第1群で選択した科目を除き、第2群①②から1科目選択（ただし母語を除く） | |
| 哲学専攻 | 第1群で選択した科目を除き、第2群①から1科目選択（ただし母語を除く） | |
| 日本史学専攻 東洋史学専攻 日本語日本文学専攻 | 第1群で選択した科目を除き、第2群①③から1科目選択 | |
| 英語英米文学専攻 | 第2群①のドイツ語またはフランス語から1科目選択（ただし母語を除く） | |
| ★試験当日の科目変更不可 ★第2群の受験の際は、語学に関する辞書1冊持ち込み可（ただし、電子辞書は不可） | | |
| 修士論文を主とした口述試験および各専攻ごとに関連する文献解読 | | 13:15～ |

＜合否判定＞ 筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 文学研究科博士後期課程 —教育学専攻・臨床心理学専攻— | | 試験時間 |
|-----------------------------|---|-------------|
| 書類記入 | | 8:40～9:00 |
| 外国語筆答試験 | 英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択(ただし母語を除く) 【「試験科目選択シート」の外国語第1群欄に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可 | 9:00～10:30 |
| 専門科目筆答試験 | 《教育学専攻》 教育学、教育心理学から1科目選択 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 | 10:50～12:20 |
| 専門科目口述試験 | 修士論文あるいはそれに相当する学術論文ならびに今後の研究計画に関する口述試験 | 13:15～ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

※外国語科目筆答試験免除の出願(社会人への特別措置)—教育学専攻・臨床心理学専攻のみ対象—

出願時において、大学卒業後10年以上経過している者は、既に発表している研究業績(出願する専攻にかかわる相当数の論文、あるいは著書)を添えて、外国語科目筆答試験免除の出願をすることができます。免除を希望する場合は「試験科目選択シート」に記入してください。審査の結果、外国語科目筆答試験の免除が認められた者には、試験日前日までに通知します。

なお、外国語科目筆答試験が免除されない場合もありますので、「試験科目選択シート」には選択する外国語科目を記入し、提出してください。

法学研究科 修士課程

◆出願資格

| 法学研究科修士課程 | 一般入試 アジア・アフリカ総合研究プログラム入試 |
|--|-----------------------------|
| 次の1から5のいずれかに該当する者 | |
| 1. 大学を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者 | |
| 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者 | |
| 3. 文部科学大臣の指定した者 | |
| 4. 短期大学、高等専門学校、専修学校もしくは各種学校の卒業者または外国大学日本分校等の修了者などで、22歳に達し、本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 | |
| 5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 | |

※アジア・アフリカ総合研究プログラム入試により合格した出願者は、大学院入学後、アジア・アフリカ総合研究プログラムに所属し、その専門領域で修士論文を作成することになります。

※一般入試に合格した出願者も、入学後アジア・アフリカ総合研究プログラムに進学し、学修することができます。

| 法学研究科修士課程 | 社会人入試 |
|---|-------|
| 次の1から4のいずれかに該当する者 | |
| 1. 大学を卒業した者および2012年3月に卒業見込みの者で1年以上の就業経験がある者、または、本大学院研究科において、これと同等の社会的経験があると認められた者 | |
| 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、1年以上職業に従事している者または1年以上の就業経験がある者 | |
| 3. 短期大学、高等専門学校、専修学校もしくは各種学校の卒業者または外国大学日本分校等の修了者などで、原則として卒業後3年以上の就業経験、またはこれと同等の社会的経験がある者で、本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 | |
| 4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で1年以上の就業経験、またはこれと同等の社会的経験がある者 | |
| ※上記の就業経験には、原則として学部在籍中の就業経験は含まれません。 | |
| ただし、主として夜間に授業を行うコースに在籍中の就業経験は含まれます。 | |

※社会人入試に合格した出願者も、入学後アジア・アフリカ総合研究プログラムに進学し、学修することができます。

◆出願書類

| 法学研究科修士課程 | 一般入試 アジア・アフリカ総合研究プログラム入試 |
|--|-----------------------------|
| 1. 出願シート（本学所定用紙） | |
| 2. 志望理由書（本学所定用紙・様式3） | |
| 3. 卒業（見込）証明書または修士課程・博士後期課程の修了（見込）証明書 | |
| 4. 上記に関わる成績証明書 | |
| 5. 試験科目選択シート（本学所定用紙） | |
| 6. 研究計画書（本学所定用紙・様式26）（アジア・アフリカ総合研究プログラム入試のみ） | |

| 法学研究科修士課程 | 社会人入試 |
|--------------------------------------|-------|
| 1. 出願シート（本学所定用紙） | |
| 2. 志望理由書（本学所定用紙・様式3） | |
| 3. 自己申告書（本学所定用紙・様式11） | |
| 4. 履歴書（本学所定用紙・様式13） | |
| 5. 研究計画書（本学所定用紙・様式16） | |
| 6. 研究論文（研究論文を提出する場合） | |
| 7. 卒業（見込）証明書または修士課程・博士後期課程の修了（見込）証明書 | |
| 8. 上記に関わる成績証明書 | |
| 9. 試験科目選択シート（本学所定用紙） | |

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 法学研究科修士課程 一般入試 | | 試験時間 |
|---|--|-------------|
| 説 明 | | 10:15~10:30 |
| 筆答試験 (2科目選択) 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 | 法哲学、法史学(日本)、憲法、行政法、国際法、刑法、民法、商法(保険・海商法を除く)、労働法、社会保障法、刑事訴訟法、刑事学、民事訴訟法、民事執行法、税法、政治学、日本政治史、西洋政治史、行政学、アジア・アフリカ政治論、中国政治論、国際政治学、公共政策論(地域政策を含む)、外国語(英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択)から2科目選択 ★試験当日の科目変更不可 ★外国語を選択する場合は一般的な外国語辞書持ち込み可(ただし、電子辞書や専門用語辞書の持ち込み不可) ★法律科目受験者は「六法」の持ち込み可(ただし、判例つきは不可) ★口述試験は行いません | 10:30~12:10 |
| | | 13:20~15:00 |

〈合否判定〉筆答試験および出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 法学研究科修士課程 アジア・アフリカ総合研究プログラム入試 | | 試験時間 |
|---|---|-------------|
| 説 明 | | 10:15~10:30 |
| 筆答試験 (1科目選択) 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 | 政治学、行政学、日本政治史、西洋政治史、アジア・アフリカ政治論、中国政治論、国際政治学、憲法、行政法、国際法、外国語(英語、ドイツ語、フランス語)から1科目選択 ★試験当日の科目変更不可 ★外国語を選択する場合は、一般的な外国語辞書持ち込み可(ただし、電子辞書や専門用語辞書の持ち込み不可) ★法律科目受験者は「六法」の持ち込み可(ただし、判例つきは不可) | 10:30~12:10 |
| 口 述 試 験 | | 13:20~ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 法学研究科修士課程 社会人入試（研究論文を提出する場合） | | 試験時間 |
|--|--|-------------|
| 説 明 | | 10：15～10：30 |
| 研究論文は400字詰原稿用紙30枚以上の論文、あるいは、それに相当するもの（例えば、雑誌論文、新聞投稿論文等）とします。 | | — |
| 口 述 試 験 | | 10：30～ |

〈合否判定〉 研究論文、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。

| 法学研究科修士課程 社会人入試（研究論文を提出しない場合） | | 試験時間 |
|---|---|-------------|
| 説 明 | | 10：15～10：30 |
| 筆答試験 (1科目選択) 【「試験科目選択シート」 に記入し提出してください。】 | 法哲学、法史学（日本）、憲法、行政法、国際法、刑法、民法、商法（保険・海商法を除く）、労働法、社会保障法、刑事訴訟法、刑事学、民事訴訟法、民事執行法、税法、政治学、日本政治史、西洋政治史、行政学、アジア・アフリカ政治論、中国政治論、国際政治学、公共政策論（地域政策を含む）から1科目選択 ★試験当日の科目変更不可 ★法律科目受験者は「六法」の持ち込み可（ただし、判例つきは不可） | 10：30～12：10 |
| 口 述 試 験 | | 13：20～ |

〈合否判定〉 筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

法学研究科 博士後期課程

◆出願資格

| |
|---|
| 法学研究科博士後期課程 |
| 次のいずれかに該当する者 1. 修士の学位を得た者および2012年3月までに修士の学位を得る見込みの者 2. 外国において修士の学位に相当する学位を得た者、および2012年3月までに修士の学位に相当する学位を得る見込みの者 3. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認めた者 4. 法務博士の学位を得た者、および2012年3月末日までに法務博士の学位を得る見込みの者 5. 4以外の専門職大学院学位を得た者、および2012年3月末日までに専門職大学院学位を得る見込みの者 |

◆出願書類

| |
|--|
| 法学研究科博士後期課程 |
| 1. 出願シート（本学所定用紙） 2. 志望理由書（本学所定用紙・様式3） 3. 学部の卒業証明書と修士課程または専門職大学院課程(法務博士課程含む)の修了(見込)証明書 4. 学部の成績証明書と修士課程または専門職大学院課程(法務博士課程含む)の成績証明書 5. 論文（コピー） ①上記の出願資格が1～3の者 修士論文および同論文の概要〈要旨〉(様式は任意、日本語2,000字程度)と研究計画書(様式は任意)各2部を提出してください。なお修士論文の他に、審査対象として補充論文をあわせて提出することができます。 ※本学大学院修士課程修了者も提出してください。 ②上記の出願資格が4～5の者 志望する専攻分野に関する論文(A4判400字詰原稿用紙30枚以上、またはワープロ書きの場合はA4判用紙横書きで12,000字以上)および同論文の概要〈要旨〉(様式は任意、日本語2,000字程度)と研究計画書(様式は任意)各2部を提出してください。 6. 試験科目選択シート（本学所定用紙） |

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 法学研究科博士後期課程 | | 試験時間 |
|-------------|--|-------------|
| 説 明 | | 10:15～10:30 |
| 外国語筆答試験 | 英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★一般的な外国語辞書の持ち込み可 ただし、電子辞書や専門用語辞書の持ち込み不可 | 10:30～12:10 |
| 口 述 試 験 | 審査論文を主とした口述試験 | 13:20～ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類(論文)などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

- ①上記の出願資格が1～3の者
修士論文またはそれに準ずるものの審査
- ②上記の出願資格が4～5の者
志望する専攻分野に関連する論文の審査

経済学研究科 修士課程

◆出願資格

| |
|--|
| 経済学研究科修士課程 一般入試 |
| 次の1から4のいずれかに該当する者 1. 大学を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者 3. 文部科学大臣の指定した者 4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 ただし、外国人留学生（本学経済学部在学学生もしくは卒業生を除く）は出願できません |
| 経済学研究科修士課程 社会人入試 |
| 次の1または2のどちらかに該当する者 1. 次の(1)から(4)のいずれかに該当するとともに、本大学院研究科入学時まで2年以上の就業経験を有する者 (1) 大学を卒業または2012年3月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法104条の第4項の規定により学士の学位を授与された者 (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者 (4) 文部科学大臣の指定した者 2. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 ただし、外国人留学生（本学経済学部在学学生もしくは卒業生を除く）は出願できません |
| 経済学研究科修士課程 飛び級制度入試 |
| 学部(他学部、他大学を含む)の第3年次在籍者で、次の1から3のいずれかに該当する者 1. 2年次までに修得した必修外国語科目の2分の1以上が80点以上を得て、志願者の所属学部における卒業要件単位の2分の1を修得し、かつ、全修得科目の評点の3分の2以上が80点以上を得ていること 2. 2年次までに卒業要件単位の2分の1を修得し、かつ語学に関して次のいずれかの条項を満たしている者 (1) 実用英語検定試験の準1級以上に合格している者 (2) TOEFL®(Test of English as a Foreign Language)のスコアが550点(iBT80点)以上の者 (3) TOEIC®(Test of English for International Communication)のスコアが750点以上の者 (4) IELTS(International English Language Testing System)のポイントが6.0以上の者 (5) Zertifikat Deutsch als Fremdspracheを取得している者 (6) 実用フランス語技能検定試験2級以上に合格している者 3. 本学経済学部第3年次修了時に、112単位以上修得見込み(ただし、卒業要件単位のみ対象)で、かつ、専攻科目の修得評点平均80点以上が見込める者 ただし、外国人留学生（本学経済学部在学学生を除く）は出願できません 出願資格3で受験した者が3年次修了時に、修得単位が112単位未満の場合や、専攻科目の修得評点平均が80点未満の場合は入学を取り消します。 |
| 経済学研究科修士課程 帰国学生入試 |
| 外国の学校教育を受け、次の1から2のいずれかに該当する者。ただし、2010年3月31日以前に帰国した者は除く。 1. 外国において学士に相当する学位を取得したか、あるいは2012年3月までに取得する見込みの者、またそれらに準ずる者 2. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 |

◆出願書類

| 経済学研究科修士課程 一般入試 |
|---|
| 1. 出願シート (本学所定用紙) 2. 志望理由書 (本学所定用紙・様式4) 3. 研究計画書 (様式自由4,000字程度) 4. 学部の卒業 (見込) 証明書 (ただし、修士・博士後期課程修了 (見込) 者は、修了した (修了見込の) 課程の修了 (見込) 証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと) 5. 学部の成績証明書 (ただし、修士・博士後期課程修了者は、修了した課程の成績証明書も提出のこと) 6. 調査書 (本学所定用紙・様式1) |

| 経済学研究科修士課程 社会人入試 |
|---|
| 1. 出願シート (本学所定用紙) 2. 志望理由書 (本学所定用紙・様式4) 3. 研究計画書 (様式自由4,000字程度) 4. 学部の卒業 (見込) 証明書 (ただし、修士・博士後期課程修了 (見込) 者は、修了した (修了見込の) 課程の修了 (見込) 証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと) 5. 学部の成績証明書 (ただし、修士・博士後期課程修了者は、修了した課程の成績証明書も提出のこと) 6. 自己申告書 (本学所定用紙・様式10) (自己の業績報告・就業経験報告) 7. 推薦書 (本学所定用紙・様式12) ※所属長の許可を必要とする者のみ提出してください。 |

| 経済学研究科修士課程 飛び級制度入試 |
|--|
| 1. 出願シート (本学所定用紙) 2. 成績証明書 3. 出願資格1の項目に該当する者は、素点評価を確認できるもの (成績表の写しなど) 4. 出願資格2の項目に該当する者は、それを証明するもの (返却可能) 5. 出願資格3の項目に該当する者は、112単位以上修得見込み証明書 6. 志望理由書 (本学所定用紙・様式4) 7. 研究計画書 (様式自由4,000字程度) 8. 推薦書 (本学所定用紙・様式12:ゼミ指導教員作成のもの) |

| 経済学研究科修士課程 帰国学生入試 |
|---|
| 1. 出願シート (本学所定用紙) 2. 志望理由書 (本学所定用紙・様式4) 3. 研究計画書 (様式自由4,000字程度) 4. 推薦書 (本学所定用紙・様式12) 5. 学部の卒業 (見込) 証明書 (ただし、修士・博士後期課程修了 (見込) 者は、修了した (修了見込の) 課程の修了 (見込) 証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと) 6. 学部の成績証明書 (ただし、修士・博士後期課程修了者は、修了した課程の成績証明書も提出のこと) 7. 健康診断書 (本学所定用紙・龍谷大学入試部へご請求ください) ※国外居住者のみ提出してください。医師の資格のある者が記入してください。胸部X線検査は撮影年月日が出願前6ヶ月以内のものに限ります。 |

◆試験内容・試験時間・合否判定

経済学研究科 修士課程
一般入試／社会人入試／飛び級制度入試（春期試験のみ）／帰国学生入試

| [経済学専攻 経済学総合研究プログラム] [経済学専攻 民際学研究プログラム] [経済学専攻 アジア・アフリカ総合研究プログラム] | 試験時間 |
|---|-------------|
| 説明書類記入 | 12：40～13：00 |
| 口述試験 | 13：00～ |

〈合否判定〉口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。欠席した場合は、結果は通知しません。

経済学研究科 博士後期課程

◆出願資格

| |
|--|
| 経済学研究科博士後期課程 |
| 次の1または2のどちらかに該当する者 1. 修士の学位を得た者および2012年3月に修士の学位を得る見込みの者 2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者 |

◆出願書類

| |
|---|
| 経済学研究科博士後期課程 |
| <ol style="list-style-type: none"> 出願シート（本学所定用紙） 調査書（本学所定用紙・様式1） 志望理由書（本学所定用紙・様式4） 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書（ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと） 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書（ただし、博士後期課程修了者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと） 修士論文のコピー（修士課程修了見込の者は修士論文草稿）あるいはそれに相当する学術論文 ※仮綴りまたはファイルしたものを提出してください。 修士論文要旨（400字詰原稿用紙5～10枚、欧文の場合800 words程度） 今後の研究計画書（400字詰原稿用紙3枚程度、欧文の場合200 words程度） ※本学大学院修士課程修了者も提出してください。 試験科目選択シート（本学所定用紙） |

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 経済学研究科博士後期課程 | | 試験時間 |
|--------------|---|-------------|
| 説明・書類記入 | | 8:40～9:00 |
| 外国語筆答試験 | 英語〔1〕…基礎的 | 9:00～10:30 |
| 外国語筆答試験 | 英語〔2〕、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語から1科目選択（ただし母語を除く） 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書持ち込み可 （ただし、各外国語の経済用語辞書、電子辞書は不可） | 10:45～12:15 |
| 専門科目口述試験 | 修士論文あるいはそれに相当する学術論文ならびに今後の研究計画に関する口述試験 | 13:15～ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

経営学研究科 修士課程

◆出願資格

| | |
|--|--|
| 経営学研究科修士課程 | アカデミック・コース入試（秋期・春期） ビジネス・コース入試（秋期・春期） 注）演習論文を提出する場合の入試は、春期のみ実施します。 日中連携ビジネス・コース一般入試（秋期・春期） |
| 以下のいずれかに該当する者 1. 大学を卒業した者および2012年3月に卒業見込みの者 2. 大学評価・学位授与機構により学士の学位を得た者および得る見込みの者 3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者 4. 大学院において個別の入学資格審査により認められた者 ※演習論文を提出する場合は、次の条件のいずれかを満たすこと 1) 本学経営学部を卒業した者で、卒業時における全科目のGPAが2.50以上であること 2) 本学経営学部を2012年3月に卒業見込みの者で、前年度終了時における全科目のGPAが2.50以上であること | |
| 経営学研究科修士課程 | 日中連携ビジネス・コース社会人入試（秋期・春期） 社会人ビジネス・コース入試（秋期・春期） 社会人課題研究型コース入試（春期） |
| 以下のいずれかに該当するとともに、出願時において2年以上の在職経験のある者 1. 大学を卒業した者および2012年3月に卒業見込みの者 2. 大学評価・学位授与機構により学士の学位を得た者および得る見込みの者 3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者 4. 大学院において個別の入学資格審査により認められた者 | |
| 経営学研究科修士課程 | 日中連携ビジネス・コース特別入試（秋期・春期） 社会人ビジネス・コース特別入試（秋期・春期） |
| 以下のいずれかに該当する者 1. 本学出身者（学部・大学院）で、出願時において2年以上の在職経験のある者 2. 本学出身者（学部・大学院）で、税理士試験の簿記論あるいは財務諸表論のいずれかに合格している者 | |

◆出願書類

| | |
|---|---|
| 経営学研究科修士課程 | アカデミック・コース入試（秋期・春期） ビジネス・コース入試（秋期・春期） 日中連携ビジネス・コース一般入試（秋期・春期） |
| 1. 出願シート(本学所定用紙) 2. 調査書(本学所定用紙・様式1) 3. 志望理由書(本学所定用紙・様式7) 4. 研究計画書（本学所定用紙・様式23） 5. 学部の卒業（見込）証明書（ただし修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと） 6. 学部の成績証明書（ただし修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと） 7. 演習論文（ビジネス・コース志願者で、演習論文の審査を希望する者） | |
| 経営学研究科修士課程 | 日中連携ビジネス・コース社会人入試（秋期・春期） 日中連携ビジネス・コース特別入試（秋期・春期） 社会人ビジネス・コース入試（秋期・春期） 社会人ビジネス・コース特別入試（秋期・春期） 社会人課題研究型コース入試（春期） |
| 1. 出願シート(本学所定用紙) 2. 志望理由書(本学所定用紙・様式7) 3. 履歴書(本学所定用紙・様式14) 4. 研究計画書（本学所定用紙・様式23、ただし社会人課題研究型コース出願者は様式25） 5. 学部の卒業（見込）証明書（ただし修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと） 6. 学部の成績証明書（ただし修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと） 7. 特別入試の「出願資格2」で出願する者は、簿記論あるいは財務諸表論のいずれかの合格通知書のコピー | |

◆試験内容・試験時間・合否判定

一般入試

| 経営学研究科修士課程 アカデミック・コース入試（秋期・春期） | | 試験時間 |
|--------------------------------|--|-------------|
| 書類記入 | | 9：40～10：00 |
| 専門科目筆答試験 | 経営学3問、会計学2問の中から2問を選択、解答すること。ただし、入学後、「会計学」専攻予定者は、会計学2問を必ず選択・解答すること。 | 10：00～12：00 |
| 外国語筆答試験 | 英語 ★辞書(英和)持ち込み可(ただし電子辞書、専門用語辞書は不可) | 13：00～14：30 |
| 面接試験 | | 15：00～ |

〈合否判定〉筆答試験、面接試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 経営学研究科修士課程 ビジネス・コース入試（秋期・春期） | | 試験時間 |
|------------------------------|--|-------------|
| 書類記入 | | 9：40～10：00 |
| 専門科目筆答試験 | 経営学3問、会計学2問の中から2問を選択、解答すること。ただし、入学後、「会計学」専攻予定者は、会計学2問を必ず選択・解答すること。 | 10：00～12：00 |
| 面接試験 | | 13：00～ |

〈合否判定〉筆答試験、面接試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 経営学研究科修士課程 ビジネス・コース入試（春期のみ） 演習論文を提出する場合(本学経営学部を卒業した者及び2012年3月に卒業見込みの者に限る) | | 試験時間 |
|--|--|------------|
| 書類記入 | | 9：40～10：00 |
| 口述試験 | | 10：00～ |

〈合否判定〉演習論文、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。

| 経営学研究科修士課程 日中連携ビジネス・コース一般入試（秋期・春期） | | 試験時間 |
|------------------------------------|-----|-------------|
| 書類記入 | | 9：40～10：00 |
| 筆答試験 | 小論文 | 10：00～11：30 |
| 面接試験 | | 12：30～ |

〈合否判定〉筆答試験、面接試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

社会人入試

| 経営学研究科修士課程 日中連携ビジネス・コース社会人入試（秋期・春期） | | 試験時間 |
|-------------------------------------|-----|-------------|
| 書類記入 | | 9：40～10：00 |
| 筆答試験 | 小論文 | 10：00～11：30 |
| 面接試験 | | 12：30～ |

〈合否判定〉筆答試験、面接試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 経営学研究科修士課程 日中連携ビジネス・コース特別入試（秋期・春期） ＜本学出身者対象＞ | | 試験時間 |
|---|--|-------------|
| 書類記入 | | 12：10～12：30 |
| 面接試験 | | 12：30～ |

〈合否判定〉面接試験、出願書類を総合して、合否を判定します。

| 経営学研究科修士課程 社会人ビジネス・コース入試（秋期・春期） | | 試験時間 |
|---------------------------------|---|-------------------------------------|
| 書類記入 | | 9：40～10：00 |
| 筆答試験 | 小論文 ただし、税理士試験免除申請希望者については、小論文に加えて学科試験（会計学）を課す。 | 10：00～11：30 |
| | 会計学（税理士試験免除申請希望者のみ） | 12：30～14：30 |
| 面接試験 | | 12：30～ ※15：00～ （税理士試験免除申請希望者） |

〈合否判定〉筆答試験、面接試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 経営学研究科修士課程 社会人ビジネス・コース特別入試（秋期・春期） ＜本学出身者対象＞ | | 試験時間 |
|--|---|--|
| 書類記入 | | 12：10～12：30 |
| 筆答試験 | 筆答試験は免除する。ただし、税理士試験免除申請希望者であって「出願資格2」に該当しない者は、学科試験（会計学）を課す。 | / |
| | 会計学 | |
| 面接試験 | | 12：30～ ※15：00～ （「出願資格2」に該当しない 税理士試験免除申請希望者） |

〈合否判定〉筆答試験、面接試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 経営学研究科修士課程 社会人課題研究型コース入試（春期） | | 試験時間 |
|------------------------------|--|-------------|
| 書類記入 | | 12：10～12：30 |
| 面接試験 | | 12：30～ |

※出願者の持つ研究テーマについて発表及び質疑応答を行います。受入可能な研究領域については、秋頃に別途WEB等で公示するものとします。

〈合否判定〉面接試験、出願書類を総合して、合否を判定します。

経営学研究科 博士後期課程

◆出願資格

| |
|---|
| 経営学研究科博士後期課程 |
| 次の1または2のどちらかに該当する者 1. 修士の学位を得た者および2012年3月修士の学位を得る見込みの者 2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者 |

◆出願書類

| |
|--|
| 経営学研究科博士後期課程 |
| 1. 出願シート（本学所定用紙） 2. 調査書（本学所定用紙・様式1） 3. 志望理由書（本学所定用紙・様式5） 4. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書（ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと） 5. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書（ただし、博士後期課程修了者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと） 6. 修士論文（コピー） 7. 修士論文要旨（400字詰原稿用紙 5～10枚 、欧文の場合 800 words 程度 ） 8. 今後の研究計画書（400字詰原稿用紙 3枚程度 、欧文の場合 200 words 程度 ） ※本学大学院修士課程修了者も提出してください。 9. 試験科目選択シート（本学所定用紙） |

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 経営学研究科博士後期課程 | | 試験時間 |
|--------------|--|------------|
| 書類記入 | | 9:00～9:15 |
| 外国語筆答試験 | 英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうちから1科目選択（ただし母語を除く）。 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書持ち込み可。 （ただし電子辞書、専門用語辞書は不可） | 9:15～10:45 |
| 専門科目口述試験 | 修士論文を対象とします。 | 11:00～ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

社会学研究科 修士課程

◆出願資格

社会学研究科修士課程 一般入試

次の1から4のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

社会学研究科修士課程 社会人入試

次の1から4のいずれかに該当するとともに、入学時まで3年以上の社会人経験を有すると本大学院研究科が認めた者

1. 大学を卒業した者または2012年3月に卒業見込みの者
2. 外国において学校教育16年の課程を修了した者（修了後3年以上経過していること）
3. 文部科学大臣の指定した者（資格認定後3年以上経過していること）
4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

◆出願書類

社会学研究科修士課程 一般入試

1. 出願シート（本学所定用紙）
2. 調査書（本学所定用紙・様式1）
3. 志望理由書（本学所定用紙・様式6）
4. 学部の卒業（見込）証明書（ただし、修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと）
5. 学部の成績証明書（ただし、修士・博士後期課程修了者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと）
6. 試験科目選択シート（本学所定用紙）
7. 研究計画書（A4判 横書き 2,000字程度）

社会学研究科修士課程 社会人入試

1. 出願シート（本学所定用紙）
2. 志望理由書（本学所定用紙・様式6）
※社会人経験から得た研究動機を含むこと
3. 推薦書（本学所定用紙・様式12）
4. 学部の卒業（見込）証明書（ただし、修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと）
5. 学部の成績証明書（ただし、修士・博士後期課程修了者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと）
6. 研究計画書（A4判 横書き 2,000字程度）

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 社会学研究科修士課程 一般入試 | | 試験時間 |
|-----------------|---|-------------|
| 書類記入 | | 9:00～9:20 |
| 外国語筆答試験 | 英語、日本語から1科目選択（但し、母語を除く） 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★英語選択者には英和辞典、日本語選択者には国語辞典を貸与します。 | 9:20～10:50 |
| 専門科目筆答試験 | 《社会学専攻》 ・社会学コース 社会学概論（社会学史を含む） ・ジャーナリズムコース マス・コミュニケーション論（マス・メディア史を含む） 《社会福祉学専攻》社会福祉原論（社会福祉史を含む） | 11:15～12:45 |
| 口述試験 | | 13:45～ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 社会学研究科修士課程 社会人入試 | | 試験時間 |
|------------------|------------------------|-------------|
| 書類記入 | | 10:40～11:00 |
| 専門科目筆答試験 | 論文試験（各専攻・コースの専門領域から出題） | 11:15～12:45 |
| 口述試験 | | 13:45～ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

社会学研究科 博士後期課程

◆出願資格

| |
|---|
| 社会学研究科博士後期課程 一般入試 |
| 次の1または2のどちらかに該当する者 1. 修士の学位を得た者および2012年3月修士の学位を得る見込みの者 2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者 |
| 社会学研究科博士後期課程 社会人入試 |
| 入学時において、次の1から4のいずれかに該当する者 1. 専攻に関連する修士の学位を有し、学士取得後3年以上の就業経験がある者 2. 外国において専攻に関連する修士の学位に相当する学位を授与され、学士取得後3年以上の就業経験がある者 3. 現在大学教育機関・研究機関等に所属し、3年以上の教育・研究職の経験を有する者（非常勤講師も含む） 4. 上記1～3と同等以上の学力があると本大学院研究科が認められた者 |

※社会人入試にて出願をされる方は、必ず出願締切日の1ヵ月前迄に社会学部教務課にお問い合わせください。
社会学部教務課 TEL：077-543-7760

◆出願書類

| |
|--|
| 社会学研究科博士後期課程 一般入試 |
| 1. 出願シート（本学所定用紙） 2. 調査書（本学所定用紙・様式1） 3. 志望理由書（本学所定用紙・様式6） 4. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書（ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと） 5. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書（ただし、博士後期課程修了者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと） 6. 修士論文（コピー） 7. 修士論文要旨（3,200字程度、欧文の場合800 words 程度） 8. 研究計画書（2,000字程度、欧文の場合500 words 程度） ※本学大学院修士課程修了者も提出してください。 9. 試験科目選択シート（本学所定用紙） |
| 社会学研究科博士後期課程 社会人入試 |
| ■出願資格1. 2. の者 1. 出願シート（本学所定用紙） 2. 志望理由書（本学所定用紙・様式6） 3. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書（ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと） 4. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書（ただし、博士後期課程修了者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと） 5. 修士論文要旨（3,200字程度、欧文の場合800 words 程度） 6. 著書・研究論文（公刊された著書、学術論文、学術講演、学術報告書など3点） 7. 研究計画書（4,000字程度、欧文の場合1,000 words 程度） |
| ■出願資格3. 4. の者 1. 出願シート（本学所定用紙） 2. 志望理由書（本学所定用紙・様式6） 3. 修士論文又は代表論文の要旨（3,200字程度、欧文の場合800 words 程度） 4. 著書・研究論文（公刊された著書、学術論文、学術講演、学術報告書など3点） 5. 研究計画書（4,000字程度、欧文の場合1,000 words 程度） なお、出願資格3. に該当する者は、大学教育機関・研究機関等による教育・研究職の経歴を明示できる証明書を必ず添付してください。（該当する大学教育機関・研究機関所定） |

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 社会学研究科博士後期課程 一般入試 | | 試験時間 |
|-------------------|--|-------------|
| 書類記入 | | 9:00～9:20 |
| 外国語筆答試験 | 英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択（但し、母語を除く） 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★英語選択者には英和辞典、ドイツ語選択者には独和辞典、フランス語選択者には仏和辞典を貸与します。 | 9:20～10:50 |
| 専門科目筆答試験 | 各専攻に関する小論文 | 11:15～12:45 |
| 専門科目口述試験 | 修士論文を主とした口述試験および各専攻に関連する文献解読 | 13:45～ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 社会学研究科博士後期課程 社会人入試 | | 試験時間 |
|------------------------|--|-------------|
| 書類記入 | | 10:40～11:00 |
| 専門科目筆答試験（各専攻に関する小論文） | | 11:15～12:45 |
| 専門科目口述試験（各専攻に関連する口述試験） | | 13:45～ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

理工学研究科 修士課程

◆出願資格

| |
|---|
| 理工学研究科修士課程 |
| 次の1から4のいずれかに該当する者 1. 大学を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者 3. 文部科学大臣の指定した者 4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者※ |

※4. については出願資格審査を必要とします。出願資格審査に必要な関係書類については余裕をもって、必ず事前に理工学部教務課にお問い合わせください。

理工学部教務課 TEL：077-543-7730

◆出願資格の確認

| |
|--|
| ○秋期試験 |
| 出願資格4については、資格審査関係書類を出願締切日の1ヵ月前（7月22日(金) ※締切日必着）までに郵送してください。 |
| ○春期試験 |
| 出願資格4については、資格審査関係書類を出願締切日の2ヵ月前（11月18日(金) ※締切日必着）までに郵送してください。 |

◆出願書類

| |
|---|
| 理工学研究科修士課程 |
| 1. 出願シート（本学所定用紙） 2. 調査書（本学所定用紙・様式1）※本学理工学部当該学科出身者は不要 3. 志望理由書（本学所定用紙・様式8） 4. 学部の卒業（見込）証明書（ただし、修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと） 5. 学部の成績証明書（ただし、修士・博士後期課程修了者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと） |

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 理工学研究科修士課程 秋期試験・春期試験 | | 試験時間 |
|----------------------|--|-------------|
| 説明・書類記入 | | 9:45～10:00 |
| 外国語 | 英語 | 10:00～10:50 |
| 専門Ⅰ | ◎数理情報学専攻 線形代数（必答）。微積分、力学、計算機システムから2問選択。 ◎電子情報学専攻 数学（微分積分・微分方程式、線形代数、固有値・固有ベクトル）、 物理（力学、電磁気学）計2科目 ◎機械システム工学専攻 数学、物理 計2科目 ◎物質化学専攻 数学、物理、化学基礎・グリーンケミストリー 計3科目 ◎情報メディア学専攻 情報メディア基礎、数学、基礎情報学 計3科目 ◎環境ソリューション工学専攻 4問中3問選択 環境科学（数学、物理、化学、生物）から出題 | 11:00～12:30 |
| 専門Ⅱ | ◎数理情報学専攻 6問中3問選択 数理解析、応用数理、情報科学の各分野から2問ずつ出題 ◎電子情報学専攻 6問中4問選択 Ⅰ．電気回路（電気・電子回路、共振回路、伝送路） Ⅱ．電子工学（固体物理、半導体工学） Ⅲ．通信工学（変復調、交換、通信プロトコル） Ⅳ．情報工学（情報理論、アルゴリズム、プログラミング言語、 オートマトン） Ⅴ．計算機工学（デジタル回路、計算機アーキテクチャ、オペレ ーティングシステム） Ⅵ．応用数学（情報数学、複素関数、フーリエ・ラプラス変換） ◎機械システム工学専攻 6問中3問選択 機械材料・強度学、材料力学、熱力学、流体工学、機械力学、 制御工学 ◎物質化学専攻 6問中3問選択 無機・無機材料系（2問）、有機・高分子系（2問）、分析・物理 化学系（2問） ◎情報メディア学専攻 必答2問に加え、1問選択 プログラミング（必答）、情報ネットワーク（必答）、情報システ ム、メディア工学、ソフトウェア科学から1問選択 ◎環境ソリューション工学専攻 10問中3問選択 エコロジー工学（5問）、生態環境マネジメント（5問） | 13:30～15:00 |
| 面接 (口頭試問) | 各専攻ごと | 15:30～ |

〈合否判定〉外国語(100点)・専門Ⅰ(150点)・専門Ⅱ(150点)・面接(口頭試問)(200点)の総合点で、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

理工学研究科 博士後期課程

◆出願資格

| |
|--|
| 理工学研究科博士後期課程 |
| 次の1または2のどちらかに該当する者 1. 修士の学位を得た者および2012年3月修士の学位を得る見込みの者 2. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者※ |

※2. については出願資格審査を必要とします。出願資格審査に必要な関係書類については余裕をもって、必ず事前に理工学部教務課にお問い合わせください。

理工学部教務課 TEL：077-543-7730

◆出願資格の確認

| |
|---|
| 理工学研究科博士後期課程 |
| ○出願資格2については、資格審査関係書類を出願締切日の2ヵ月前（11月18日(金) ※締切日必着）までに郵送してください。 |

◆出願書類

| |
|--|
| 理工学研究科博士後期課程 |
| 1. 出願シート（本学所定用紙） 2. 調査書（本学所定用紙・様式1）※本学理工学研究科修士課程の当該専攻出身者は不要 3. 志望理由書（本学所定用紙・様式9） 4. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書（ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと） 5. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書（ただし、博士後期課程修了者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと） 6. 修士論文（コピー）または修士論文に相当する学術論文（別刷）一部 7. 上記修士論文または学術論文の要旨（和文1,600字程度および英文800 words程度） 8. 今後の研究計画書（和文1,600字程度） |

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 理工学研究科博士後期課程 | | 試験時間 |
|--------------|---|-------------|
| 説明・書類記入 | | 12：45～13：00 |
| 口述試験 | 修士論文あるいはそれに相当する学術論文ならびに今後の研究計画に関して、専門分野の外国語も含めた内容に関する口述試験 | 13：00～ |

〈合否判定〉口述試験と出願書類を総合して、合否を判定します。

国際文化化学研究科 修士課程

◆出願資格

| |
|--|
| 国際文化化学研究科修士課程 |
| 次の1から4のいずれかに該当する者 1. 大学を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者 3. 文部科学大臣の指定した者 4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 |

◆出願書類

| |
|--|
| 国際文化化学研究科修士課程 |
| 1. 出願シート（本学所定用紙） 2. 推薦書（本学所定用紙・様式22-①） ※推薦者が、封筒の表に『大学院国際文化化学研究科修士課程 出願者〇〇〇推薦書在中』と記入し、厳封してください。 3. 志望理由書（本学所定用紙・様式21） 4. 学部の卒業（見込）証明書（ただし、修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと） 5. 学部の成績証明書（ただし、修士・博士後期課程修了者は、修士・博士後期課程の成績証明書も提出のこと） 6. 学部の卒業論文・卒業研究（未完成の場合は、現在作成中のもの）、またはこれまでに作成した学術的なレポートを1点（コピー可） ※提出する卒業論文等が日本語以外の場合は、日本語の要旨（800字程度）を併せて提出してください。 7. 試験科目選択シート（本学所定用紙） |

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 国際文化化学研究科修士課程 | | 試験時間 |
|---------------|--|-------------|
| 説明・書類記入 | | 9:40~10:00 |
| 外国語筆答試験 | 英語、フランス語、中国語、韓国語、日本語 から母語以外の1科目選択 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可 | 10:00~11:00 |
| 論文試験 | | 11:30~13:00 |
| 口述試験 | 出願書類などを対象とします。 | 14:30~ |

〈合否判定〉出願書類、筆答試験、論文試験、口述試験などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

国際文化化学研究科

国際文化学研究科 博士後期課程

◆出願資格

| |
|--|
| 国際文化学研究科博士後期課程 |
| 次の1から3のいずれかに該当する者 1. 修士の学位を得た者および2012年3月修士の学位を得る見込みの者 2. 外国において所定の学校教育を原則として12年以上の課程を修了し、かつ大学機関で修士の学位を得た者 3. 修士の学位を得た者と同等以上の学力があると本大学院研究科において認められた者 |

◆出願書類

| |
|---|
| 国際文化学研究科博士後期課程 |
| 1. 出願シート（本学所定用紙） 2. 推薦書（本学所定用紙・様式22-①・② 合計2名分 （1人1枚）） ※推薦者が、封筒の表に『大学院国際文化学研究科博士後期課程 出願者〇〇〇〇推薦書 在中』と記入し、厳封してください。 3. 学部の卒業証明書および修士課程の修了（見込）証明書（ただし、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位修得証明書も提出のこと） 4. 学部の成績証明書および修士課程の成績証明書（ただし、博士後期課程修了者は、博士後期課程の成績証明書も提出のこと） 5. 修士論文（コピー）2部 ※修士論文が未完成の場合は、現在作成中のもの。また修士論文がない場合は、これまでに作成した論文または著作物。 6. 修士論文要旨（日本語の修士論文の場合は英語による要旨を 400 words 程度 、日本語以外の修士論文の場合は日本語の要旨を 800字程度 ） ※未完成の場合は、現在作成中のもの。また修士論文がない場合は、これに準じる要旨。 7. 今後の研究計画書（400字詰原稿用紙 10枚程度 、英語の場合 2,000 words 程度 ） ※本学大学院国際文化学研究科修士課程修了見込み者も提出してください。 8. 試験科目選択シート（本学所定用紙） |

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 国際文化学研究科博士後期課程 | | 試験時間 |
|----------------|--|-------------|
| 説明・書類記入 | | 11:10～11:30 |
| 外国語筆答試験 | 英語、フランス語、中国語、コリア語、日本語から母語以外の1科目選択 【「試験科目選択シート」に記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可 | 11:30～13:00 |
| 専門科目口述試験 | | 14:30～ |

〈合否判定〉 出願書類、筆答試験、口述試験などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

実践真宗学研究科 修士課程

◆出願資格

実践真宗学研究科修士課程 自己推薦入試

次の1から4のいずれかに該当する者で、本研究科への入学を専願（※）とする者

1. 大学を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※専願：合格後は必ず入学することが前提となり、入学を辞退することはできません。本入試の趣旨をよく理解の上、出願してください。

実践真宗学研究科修士課程 一般入試

次の1から4のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

実践真宗学研究科修士課程 社会人入試

次の1から4のいずれかに該当するとともに、本大学院研究科入学時まで3年以上の職歴（家事従事者等を含む）を有する者で、2012年4月1日現在25歳以上の者

1. 大学を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

◆出願書類

実践真宗学研究科修士課程 自己推薦入試

1. 出願シート（本学所定用紙）
2. 調査書（本学所定用紙・様式1）
※以下に該当する者は提出不要
・本学文学部真宗学科卒業生および卒業見込みの者
・本学文学研究科真宗学専攻修了生および修了見込みの者
3. 学部の卒業（見込）証明書
4. 学部の成績証明書
5. 自己推薦書（本学所定用紙・様式24）

【自己推薦書について】

実践真宗学を志す者として、これまでの学生生活および社会人の経験の中で、自己をアピールできる経歴等を積極的に自由に記述してください。実践真宗学研究科は、強い意志と熱意を持った方を歓迎します。

次のような事項について具体的に書いてください。

- 実践真宗学研究科を志望する理由・動機
 - 実践真宗学研究科にかかわる専門職（住職・坊守など）の実務経験
 - 宗教実践、社会実践についての経験・抱負等
 - 何らかの資格を有しているのであれば、その資格（自動車免許は除く）
 - 修士、博士、Ph.Dなどの学位
 - TOEFL[®]やTOEIC[®]の成績、実用英語技能検定（英検）の合格証など外国語（英語以外の言語を含む）の能力
 - 外国留学経験
 - 大学等での学業成績、サークル活動等における実績
 - 社会活動（NPO・NGO活動やボランティア活動など）における経験
 - 企業や官公庁等に勤務した年数、役職経験、担当業務に関して力を注いだ事項や成果内容、社内外の受賞実績
 - その他、自己アピールに値すると思われる事項
（出身大学の推薦書、演習担当教員、職場の上司の推薦書などがあれば添付してください）
- ※実績・資格などを証明する書類（可能な限り公式のもの）を添付してください（コピー可）。
※所定の用紙に記載事項を必ず収めてください。

実践真宗学研究科修士課程 一般入試

1. 出願シート（本学所定用紙）
2. 志望理由書（本学所定用紙・様式2）
※出願先専攻選択理由を含む
3. 調査書（本学所定用紙・様式1）
※以下に該当する者は提出不要
 - ・本学文学部真宗学科卒業生および卒業見込みの者
 - ・本学文学研究科真宗学専攻修了者および修了見込みの者
4. 学部の卒業（見込）証明書
5. 学部の成績証明書

実践真宗学研究科修士課程 社会人入試

1. 出願シート（本学所定用紙）
2. 志望理由書（本学所定用紙・様式2）
※出願先専攻選択理由を含む
3. 自己申告書（本学所定用紙・様式10）
4. 推薦書（本学所定用紙・様式12）
5. 研究計画書（本学所定用紙・様式15）
6. 学部の卒業（見込）証明書
7. 学部の成績証明書
8. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

◆試験内容・試験時間

| 実践真宗学研究科修士課程 自己推薦入試 | | | |
|---------------------|--|--------------------------------|------------|
| | 試験日 | 試験内容 | 試験時間 |
| 第1次選考 | 書類提出 8月18日(木)～8月24日(水) 締切日消印有効 | 書類審査 | |
| | 9月24日(土) | 書類記入 | |
| 第2次選考 | レポート提出 9月26日(月)～10月7日(金) 締切日消印有効 | グループ討論 | 9:30～11:30 |
| | | レポート審査 ※詳細については9月24日(土)指示する | |
| 第3次選考 | 11月5日(土) | 書類記入 | 9:00～9:30 |
| | | 専門科目(真宗学)筆答試験 | 9:30～11:10 |
| | | 個別面談 | 12:30～ |

〈第1次選考(書類審査)〉

第1次選考(書類審査)の結果、第2次選考を受験することができなかった出願者には、納入した受験料の中から15,000円を返金します。

〈第2次選考〉

グループ討論の内容と提出されたレポートを総合的に判断し、選考します。

〈第3次選考〉

筆答試験と個別面談を総合して、可否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 実践真宗学研究科修士課程 一般入試 | | 試験時間 |
|-------------------|-------------------|-------------|
| 書類記入 | | 9:00～9:30 |
| 外国語筆答試験 | 英語 ★辞書等の持ち込み不可 | 9:30～10:30 |
| 専門科目筆答試験 | | 11:00～12:30 |
| 口述試験 | | 13:30～ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 実践真宗学研究科修士課程 社会人入試 | | 試験時間 |
|--------------------|---|-------------|
| 書類記入 | | 9:00～9:30 |
| 外国語筆答試験 | 英語、古典漢文から1科目選択 【「試験科目選択シート」に 記入し提出してください。】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可 | 9:30～10:30 |
| 論文試験 | | 11:00～12:30 |
| 口述試験 | | 13:30～ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

政策学研究科 修士課程

◆出願資格

政策学研究科修士課程 一般入試

次の1から5のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および修了見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 短期大学、高等専門学校、専修学校もしくは各種学校の卒業者または外国大学日本分校等の修了者などで、22歳に達し、本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
5. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

政策学研究科修士課程 社会人入試

次の1から4のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2012年3月に卒業見込みの者で1年以上の就業経験がある者、または、本大学院研究科において、これと同等の社会的経験があると認められた者
 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、1年以上職業に従事している者または1年以上の就業経験がある者
 3. 短期大学、高等専門学校、専修学校もしくは各種学校の卒業者または外国大学日本分校等の修了者などで、原則として卒業後3年以上の就業経験、またはこれと同等の社会的経験がある者で、本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
 4. 本大学院研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で1年以上の就業経験、またはこれと同等の社会的経験がある者
- ※上記の就業経験には、原則として学部在籍中の就業経験は含まれません。
ただし、主として夜間に授業を行うコースに在籍中の就業経験は含まれます。

◆出願書類

政策学研究科修士課程 一般入試

1. 出願シート（本学所定用紙）
2. 志望理由書（本学所定用紙・様式3）
3. 研究計画書（本学所定用紙・様式16）
4. 卒業（見込）証明書または修士課程・博士後期課程の修了（見込）証明書
5. 上記に関わる成績証明書
6. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

政策学研究科修士課程 社会人入試

1. 出願シート（本学所定用紙）
2. 志望理由書（本学所定用紙・様式3）
3. 自己申告書（本学所定用紙・様式11）
4. 履歴書（本学所定用紙・様式13）
5. 研究計画書（本学所定用紙・様式16）
6. 研究論文（研究論文を提出する場合）
7. 卒業（見込）証明書または修士課程・博士後期課程の修了（見込）証明書
8. 上記に関わる成績証明書
9. 試験科目選択シート（本学所定用紙）

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 政策学研究科修士課程 一般入試 | | 試験時間 |
|---|---|-------------|
| 説 明 | | 10:15~10:30 |
| 筆答試験 (1科目選択) 【「試験科目選択シート」 に記入し提出してくだ さい。】 | 政治学、行政学、公共政策論、地方自治論、行政 法、環境政策論、環境経済学、地域政策論、 地域経済学、NPO論、英語から1科目選択 ★試験当日の科目変更不可 ★英語を選択する場合は、一般的な英語辞書の 持ち込み可(ただし、電子辞書や専門用語辞 書の持ち込み不可) ★行政法受験者は「六法」の持ち込み可 (ただし、判例つきは不可) | 10:30~12:10 |
| 口 述 試 験 | | 13:20~ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。
1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

| 政策学研究科修士課程 社会人入試(研究論文を提出する場合) | | 試験時間 |
|--|--|-------------|
| 説 明 | | 10:15~10:30 |
| 研究論文は400字詰原稿用紙30枚以上の論文、あるいは、それに相当するもの (例えば、雑誌論文、新聞投稿論文等)とします。 | | — |
| 口 述 試 験 | | 10:30~ |

〈合否判定〉研究論文、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。

| 政策学研究科修士課程 社会人入試(研究論文を提出しない場合) | | 試験時間 |
|---|---|-------------|
| 説 明 | | 10:15~10:30 |
| 筆答試験 (1科目選択) 【「試験科目選択シート」 に記入し提出してくだ さい。】 | 政治学、行政学、公共政策論、地方自治論、行政 法、環境政策論、環境経済学、地域政策論、 地域経済学、NPO論、英語から1科目選択 ★試験当日の科目変更不可 ★英語を選択する場合は、一般的な英語辞書の 持ち込み可(ただし、電子辞書や専門用語辞 書の持ち込み不可) ★行政法受験者は「六法」の持ち込み可 (ただし、判例つきは不可) | 10:30~12:10 |
| 口 述 試 験 | | 13:20~ |

〈合否判定〉筆答試験、口述試験、出願書類などを総合して、合否を判定します。
1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。

政策学研究科 博士後期課程

◆出願資格

政策学研究科博士後期課程 一般入試

次の1から4のいずれかに該当する者

1. 修士の学位を得た者および2012年3月までに修士の学位を得る見込みの者
2. 外国において修士の学位に相当する学位を得た者、および2012年3月までに修士の学位に相当する学位を得る見込みの者
3. 修士（専門職）または法務博士（専門職）の学位を得た者、および2012年3月までに修士（専門職）または法務博士（専門職）の学位を得る見込みの者
4. 本大学院研究科において、修士の学位を得た者と同等以上の学力があると認められた者

政策学研究科博士後期課程 社会人入試

次の1から4のいずれかに該当する者

1. 本大学院研究科の専攻に関連する修士の学位を得た者および2012年3月までに本大学院研究科の専攻に関連する修士の学位を得る見込みの者で、学士取得後3年以上の就業経験がある者
2. 外国において、本大学院研究科の専攻に関連する修士の学位に相当する学位を得た者および2012年3月までに本大学院研究科の専攻に関連する修士の学位に相当する学位を得る見込みの者で、学士取得後3年以上の就業経験がある者
3. 本大学院研究科の専攻に関連する修士の学位を得た者および2012年3月までに本大学院研究科の専攻に関連する修士の学位を得る見込みの者で、官公庁、企業、NPO、各種の研究機関、教育機関などに在職し、3年以上の就業経験がある者
4. 本大学院研究科において、個別の入学資格審査により、上記1～3と同等以上の学力があると認められた者

◆出願書類

政策学研究科博士後期課程 一般入試

1. 出願シート（本学所定用紙）
2. 志望理由書（本学所定用紙・様式3）
3. 学部の卒業証明書と修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の修了（見込）証明書
4. 学部の成績証明書と修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の成績証明書
5. 研究計画書（様式は任意）
6. 論文（コピー）
修士論文もしくはそれに相当する論文、および同論文の要旨（様式は任意、日本語2,000字程度）各2部を提出すること。

政策学研究科博士後期課程 社会人入試

■出願資格が1、2、3の者

1. 出願シート（本学所定用紙）
 2. 志望理由書（本学所定用紙・様式3）
 3. 学部の卒業証明書と修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の修了（見込）証明書
 4. 学部の成績証明書と修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の成績証明書
 5. 履歴書（本学所定用紙・様式13）
 6. 研究計画書（様式は任意）
 7. 論文（コピー）
修士論文もしくはそれに相当する論文、および同論文の要旨（様式は任意、日本語2,000字程度）
- なお、出願資格3に該当する者は、現職社会人の経歴を明示できる証明書を必ず添付すること。

■出願資格が4の者

1. 出願シート（本学所定用紙）
2. 志望理由書（本学所定用紙・様式3）
3. 最終学校の卒業証明書と成績証明書
4. 履歴書（本学所定用紙・様式13）
5. 研究計画書（様式は任意）
6. 論文（コピー）
志望する専攻分野に関連する研究論文（公刊された著書、学術論文、学術報告書など）、および同論文の要旨（様式は任意、日本語2,000字程度）

◆試験内容・試験時間・合否判定

| 政策学研究科博士後期課程 一般入試・社会人入試 | 試験時間 |
|-------------------------|-------------|
| 説明 | 10：15～10：30 |
| 審査論文を主とした口述試験 | 10：30～ |

〈合否判定〉口述試験、出願書類（研究論文）などを総合して、合否を判定します。
一般入試の出願者は、修士論文またはそれに相当するものを審査します。
社会人入試の出願者は、修士論文またはそれに相当するもの、もしくは志望する専攻分野に関連する研究論文を審査します。

◆学費等（予定）

文学研究科・経済学研究科・経営学研究科

社会人入試入学者は、一般入試入学者と同じ授業料で定額の「通常学費」、もしくは登録した単位数に応じて授業料が決定する「単位制学費」のどちらかを入学時に選択し、在学中は選択した学費が適用されます。詳細については、入学手続書類でお知らせします。

○修士課程〈文学研究科（臨床心理学専攻を除く）・経済学研究科・経営学研究科〉

〈一般入試〉〔経済学研究科の飛び級制度・帰国学生入試含む〕

〈社会人入試(通常学費)〉

(単位：円)

| | | 他大学出身者 | | 本学学部出身者 | | 本学修士課程出身者 | |
|-----|--------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|
| | | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 |
| 学費 | 入学金 | 200,000 | | 150,000 | | | |
| | 授業料 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 |
| | 施設費 | 100,000 | 100,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 |
| 諸会費 | 学会入会金 | 2,000 | | | | | |
| | 学会費 | 3,000 | | 3,000 | | 3,000 | |
| | 院生会費 | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | |
| | 親和会入会金 | 3,000 | | | | | |
| | 親和会費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| | 校友会予納金 | 10,000 | | | | | |
| 合計 | | 507,500 | 281,500 | 417,500 | 256,500 | 267,500 | 256,500 |

- 注 1. 本学出身者のうち当該学部・研究科出身者以外の入学生は、学会入会金2,000円を必要とします。ただし経済学会・経営学会については、相互出身の場合、学会入会金2,000円は不要です。
2. 校友会費（30,000円）は他大学出身者のみ修士課程2年次に納入していただきます。
3. 社会人入試入学者は、入学手続期間中に以下単位制学費選択者と同額の学費・諸会費を納入し、6月20日までに、学費の差額を納入することになります。
4. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

〈社会人入試(単位制学費)〉

(単位：円)

| | | 他大学出身者 | | 本学学部出身者 | | 本学修士課程出身者 | |
|-----|--------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| | | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 |
| 学費 | 入学金 | 200,000 | | ★ 150,000 | | | |
| | 授業料 | | | | | | |
| | 在籍料 登録料(1単位あたり) | 25,000 (* 32,000) | 25,000 (* 32,000) | 25,000 (* 32,000) | 25,000 (* 32,000) | 25,000 (* 32,000) | 25,000 (* 32,000) |
| 諸会費 | 学会入会金 | 2,000 | | | | | |
| | 学会費 | 3,000 | | 3,000 | | 3,000 | |
| | 院生会費 | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | |
| | 親和会入会金 | 3,000 | | | | | |
| | 親和会費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| | 校友会予納金 | 10,000 | | | | | |
| 合計 | | 251,000 | 25,000 | 186,000 | 25,000 | 36,000 | 25,000 |

- 注 1. 授業料は単位制となっていますので、在籍料+登録料(1単位あたり登録料×登録単位数)を納入していただきます。
2. 入学年度前期の在籍料は、入学時納入金に含まれています。
3. 登録料は、登録単位数に応じた額となりますので、登録手続後納入していただくこととなります。登録料(前期分)の納入期限は6月20日です。
4. 本学修士課程出身者は、入学申込金と入学時納入金との差額を前期登録料の一部に充当します。
5. 本学出身者のうち、当該学部・研究科以外の出身者は、学会入会金2,000円を必要とします。ただし経済学会・経営学会については、相互出身の場合、学会入会金2,000円は不要です。
6. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ修士課程2年次に納入していただきます。
7. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。
- *登録料は、本表の合計欄には加算していません。
- ★本学学部出身者のうち、経営学研究科社会人入試(P7参照)で入学する方は、入学金は不要ですので、入学時納入金合計は36,000円となります。入学申込金と入学時納入金との差額は、前期登録料の一部に充当します。

○修士課程〈文学研究科（臨床心理学専攻）〉

〈一般入試〉

〈社会人入試(通常学費)〉

(単位：円)

| | | 他大学出身者 | | 本学学部出身者 | | 本学修士課程出身者 | |
|-----|--------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|
| | | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 |
| 学費 | 入学金 | 200,000 | | 150,000 | | | |
| | 授業料 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 |
| | 施設費 | 100,000 | 100,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 |
| | 実験実習費 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | 50,000 |
| 諸会費 | 学会入会金 | 2,000 | | | | | |
| | 学会費 | 3,000 | | 3,000 | | 3,000 | |
| | 院生会費 | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | |
| | 親和会入会金 | 3,000 | | | | | |
| | 親和会費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| | 校友会予納金 | 10,000 | | | | | |
| 合計 | | 557,500 | 331,500 | 467,500 | 306,500 | 317,500 | 306,500 |

- 注 1. 本学出身者のうち当該学部・研究科出身者以外の入学生は、学会入会金2,000円を必要とします。
 2. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ修士課程2年次に納入していただきます。
 3. 社会人入試入学者は、入学手続期間中に以下単位制学費選択者と同額の学費・諸会費を納入し、6月20日までに、学費の差額を納入することになります。
 4. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

〈社会人入試(単位制学費)〉

(単位：円)

| | | 他大学出身者 | | 本学学部出身者 | | 本学修士課程出身者 | |
|-----|--------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| | | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 |
| 学費 | 入学金 | 200,000 | | 150,000 | | | |
| | 授業料 | | | | | | |
| | 在籍料 登録料(1単位あたり) | 25,000 (*32,000) | 25,000 (*32,000) | 25,000 (*32,000) | 25,000 (*32,000) | 25,000 (*32,000) | 25,000 (*32,000) |
| | 実験実習費 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | 50,000 |
| 諸会費 | 学会入会金 | 2,000 | | | | | |
| | 学会費 | 3,000 | | 3,000 | | 3,000 | |
| | 院生会費 | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | |
| | 親和会入会金 | 3,000 | | | | | |
| | 親和会費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| | 校友会予納金 | 10,000 | | | | | |
| 合計 | | 301,000 | 75,000 | 236,000 | 75,000 | 86,000 | 75,000 |

- 注 1. 授業料は単位制となっており、在籍料+登録料(1単位あたり登録料×登録単位数)を納入していただきます。
 2. 入学年度前期の在籍料は、入学時納入金に含まれています。
 3. 登録料は、登録単位数に応じた額となりますので、登録手続後納入していただくこととなります。登録料(前期分)の納入期限は6月20日です。
 4. 本学修士課程出身者は、入学申込金と入学時納入金との差額を前期登録料の一部に充当します。
 5. 本学出身者のうち、当該学部・研究科以外の出身者は、学会入会金2,000円を必要とします。
 6. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ修士課程2年次に納入していただきます。
 7. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。
 *登録料は、本表の合計欄には加算していません。

○博士後期課程

(単位：円)

| | | 他大学修士課程出身者 | | 本学学部出身者 | | 本学修士課程出身者 | |
|-----|--------|------------|---------|---------|---------|-----------|---------|
| | | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 |
| 学費 | 入学金 | 200,000 | | 150,000 | | | |
| | 授業料 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 |
| | 施設費 | 100,000 | 100,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 |
| | 実験実習費 | | | | | | |
| 諸会費 | 学会入会金 | 2,000 | | | | | |
| | 学会費 | 3,000 | | 3,000 | | 3,000 | |
| | 院生会費 | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | |
| | 親和会入会金 | 3,000 | | | | | |
| | 親和会費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| | 校友会予納金 | 10,000 | | | | | |
| 合計 | | 507,500 | 281,500 | 417,500 | 256,500 | 267,500 | 256,500 |

- 注 1. 本学出身者のうち当該学部・研究科出身者以外の入学生は、学会入会金2,000円を必要とします。ただし経済学会・経営学会については、相互出身の場合、学会入会金2,000円は不要です。
 2. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ博士後期課程3年次に納入していただきます。
 3. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

法学研究科・社会学研究科・国際文化学研究科・政策学研究科

社会人入試入学者は、一般入試入学者と同じ授業料で定額の「通常学費」、もしくは登録した単位数に応じて授業料が決定する「単位制学費」のどちらかを入学時に選択し、在学中は選択した学費が適用されます。詳細については、入学手続書類でお知らせします。

○修士課程

〈一般入試〉

〈社会人入試(通常学費)〉

(単位：円)

| | | 他大学出身者 | | 本学学部出身者 | | 本学修士課程出身者 | |
|-----|--------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|
| | | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 |
| 学費 | 入学金 | 200,000 | | 150,000 | | | |
| | 授業料 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 |
| | 施設費 | 100,000 | 100,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 |
| 諸会費 | 学会入会金 | 2,000 | | | | | |
| | 学会会費 | 4,000 | | 4,000 | | 4,000 | |
| | 院生会費 | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | |
| | 親和会入会金 | 3,000 | | | | | |
| | 親和会費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| | 校友会予納金 | 10,000 | | | | | |
| 合計 | | 508,500 | 281,500 | 418,500 | 256,500 | 268,500 | 256,500 |

- 注 1. 本学出身者のうち当該学部・研究科出身者以外の入学生は、学会入会金2,000円を必要とします。ただし法学会・政策学会については、相互出身の場合、学会入会金2,000円は不要です。
 2. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ修士課程2年次に納入していただきます。
 3. 社会人入試入学者は、入学手続期間中に以下単位制学費選択者と同額の学費・諸会費を納入し、6月20日までに、学費の差額を納入することになります。
 4. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

〈社会人入試(単位制学費)〉〔国際文化学研究科除く〕

(単位：円)

| | | 他大学出身者 | | 本学学部出身者 | | 本学修士課程出身者 | |
|-----|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 |
| 学費 | 入学金 | 200,000 | | 150,000 | | | |
| | 授業料 | 25,000 | 25,000 | 25,000 | 25,000 | 25,000 | 25,000 |
| | 在籍登録料(1単位あたり) | (*32,000) | (*32,000) | (*32,000) | (*32,000) | (*32,000) | (*32,000) |
| 諸会費 | 学会入会金 | 2,000 | | | | | |
| | 学会会費 | 4,000 | | 4,000 | | 4,000 | |
| | 院生会費 | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | |
| | 親和会入会金 | 3,000 | | | | | |
| | 親和会費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| | 校友会予納金 | 10,000 | | | | | |
| 合計 | | 252,000 | 25,000 | 187,000 | 25,000 | 37,000 | 25,000 |

- 注 1. 授業料は単位制となっていますので、在籍料+登録料(1単位あたり登録料×登録単位数)を納入していただきます。
 2. 入学年度前期の在籍料は、入学時納入金に含まれています。
 3. 登録料は、登録単位数に応じた額となりますので、登録手続後納入していただくこととなります。登録料(前期分)の納入期限は6月20日です。
 4. 本学修士課程出身者は、入学申込金と入学時納入金との差額を前期登録料の一部に充当します。
 5. 本学出身者のうち、当該学部・研究科以外の出身者は、学会入会金2,000円を必要とします。ただし法学会・政策学会については、相互出身の場合、学会入会金2,000円は不要です。
 6. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ修士課程2年次に納入していただきます。
 7. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。
 *登録料は、本表の合計欄には加算していません。

○博士後期課程

(単位：円)

| | | 他大学修士課程出身者 | | 本学学部出身者 | | 本学修士課程出身者 | |
|-----|--------|------------|---------|---------|---------|-----------|---------|
| | | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 |
| 学費 | 入学金 | 200,000 | | 150,000 | | | |
| | 授業料 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 | 181,500 |
| | 施設費 | 100,000 | 100,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 |
| 諸会費 | 学会入会金 | 2,000 | | | | | |
| | 学会会費 | 4,000 | | 4,000 | | 4,000 | |
| | 院生会費 | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | |
| | 親和会入会金 | 3,000 | | | | | |
| | 親和会費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| | 校友会予納金 | 10,000 | | | | | |
| 合計 | | 508,500 | 281,500 | 418,500 | 256,500 | 268,500 | 256,500 |

- 注 1. 本学出身者のうち当該学部・研究科出身者以外の入学生は、学会入会金2,000円を必要とします。ただし法学会・政策学会については、相互出身の場合、学会入会金2,000円は不要です。
 2. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ博士後期課程3年次に納入していただきます。
 3. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

理工学研究科

○修士課程

(単位：円)

| | | 他大学出身者 | | 本学学部出身者 | | 本学修士課程出身者 | |
|-------------|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 |
| 学 費 | 入 学 金 | 200,000 | | 150,000 | | | |
| | 授 業 料 | 235,500 | 235,500 | 235,500 | 235,500 | 235,500 | 235,500 |
| | 施 設 費 | 140,000 | 140,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 |
| | 実 験 実 習 料 | 71,800 | 71,800 | 71,800 | 71,800 | 71,800 | 71,800 |
| 諸 会 費 | 理工学会入会費 | 2,000 | | | | | |
| | 理工学会費 | 3,000 | | 3,000 | | 3,000 | |
| | 院 生 会 費 | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | |
| | 親和会入会金 | 3,000 | | | | | |
| | 親 和 会 費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| | 校友会予納金 | 10,000 | | | | | |
| 合 計 | | 673,300 | 447,300 | 573,300 | 412,300 | 423,300 | 412,300 |

- 注 1. 本学出身者のうち理工学部・研究科出身者以外の入学生は、学会入会金2,000円を必要とします。
 2. 校友会費（30,000円）は他大学出身者のみ修士課程2年次に納入していただきます。
 3. 諸会費は、理工学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

○博士後期課程

(単位：円)

| | | 他大学修士課程出身者 | | 本学学部出身者 | | 本学修士課程出身者 | |
|-------------|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 |
| 学 費 | 入 学 金 | 200,000 | | 150,000 | | | |
| | 授 業 料 | 235,500 | 235,500 | 235,500 | 235,500 | 235,500 | 235,500 |
| | 施 設 費 | 140,000 | 140,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 | 105,000 |
| | 実 験 実 習 料 | 71,800 | 71,800 | 71,800 | 71,800 | 71,800 | 71,800 |
| 諸 会 費 | 理工学会入会費 | 2,000 | | | | | |
| | 理工学会費 | 3,000 | | 3,000 | | 3,000 | |
| | 院 生 会 費 | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | |
| | 親和会入会金 | 3,000 | | | | | |
| | 親 和 会 費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| | 校友会予納金 | 10,000 | | | | | |
| 合 計 | | 673,300 | 447,300 | 573,300 | 412,300 | 423,300 | 412,300 |

- 注 1. 本学出身者のうち理工学部・理工学研究科出身者以外の入学生は、学会入会金2,000円を必要とします。
 2. 校友会費（30,000円）は他大学出身者のみ博士後期課程3年次に納入していただきます。
 3. 諸会費は、理工学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

実践真宗学研究科

○修士課程

自己推薦型入学試験・一般入学試験・社会人入学試験（通常学費）

（単位：円）

| | | 他大学出身者 | | 本学学部出身者 | | 本学修士課程出身者 | |
|-------------|-------------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|
| | | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 |
| 学 費 | 入 学 金 | 200,000 | | 150,000 | | | |
| | 授 業 料 | 275,000 | 275,000 | 275,000 | 275,000 | 275,000 | 275,000 |
| | 施 設 費 | 100,000 | 100,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 |
| | 実 験 実 習 料 | 75,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 | 75,000 |
| 諸 会 費 | 学 会 入 会 金 | 2,000 | | | | | |
| | 学 会 費 | 3,000 | | 3,000 | | 3,000 | |
| | 院 生 会 費 | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | |
| | 親 和 会 入 会 金 | 3,000 | | | | | |
| | 親 和 会 費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| | 校 友 会 予 納 金 | 10,000 | | | | | |
| 合 計 | | 676,000 | 450,000 | 586,000 | 425,000 | 436,000 | 425,000 |

- 注 1. 本学出身者のうち文学部・文学研究科出身者以外の入学生は、学会入会金2,000円を必要とします。
2. 校友会費（30,000円）は他大学出身者のみ修士課程3年次に納入していただきます。
3. 社会人入試入学者は、入学手続期間中に下記の〈社会人入試（単位制学費）〉と同額の学費・諸会費を納入し、6月20日までに、学費の差額を納入することになります。
4. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

〈社会人入試（単位制学費）〉

（単位：円）

| | | 他大学出身者 | | 本学学部出身者 | | 本学修士課程出身者 | |
|-------------|-------------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| | | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 | 入学時納入金 | 1年次 後期 |
| 学 費 | 入 学 金 | 200,000 | | 150,000 | | | |
| | 授 業 料 在 籍 料 登録料（1単位あたり） | 25,000 （*49,000） | 25,000 （*49,000） | 25,000 （*49,000） | 25,000 （*49,000） | 25,000 （*49,000） | 25,000 （*49,000） |
| 諸 会 費 | 学 会 入 会 金 | 2,000 | | | | | |
| | 学 会 費 | 3,000 | | 3,000 | | 3,000 | |
| | 院 生 会 費 | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | |
| | 親 和 会 入 会 金 | 3,000 | | | | | |
| | 親 和 会 費 | 7,000 | | 7,000 | | 7,000 | |
| | 校 友 会 予 納 金 | 10,000 | | | | | |
| 合 計 | | 251,000 | 25,000 | 186,000 | 25,000 | 36,000 | 25,000 |

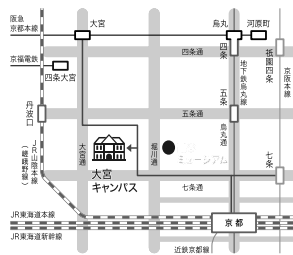
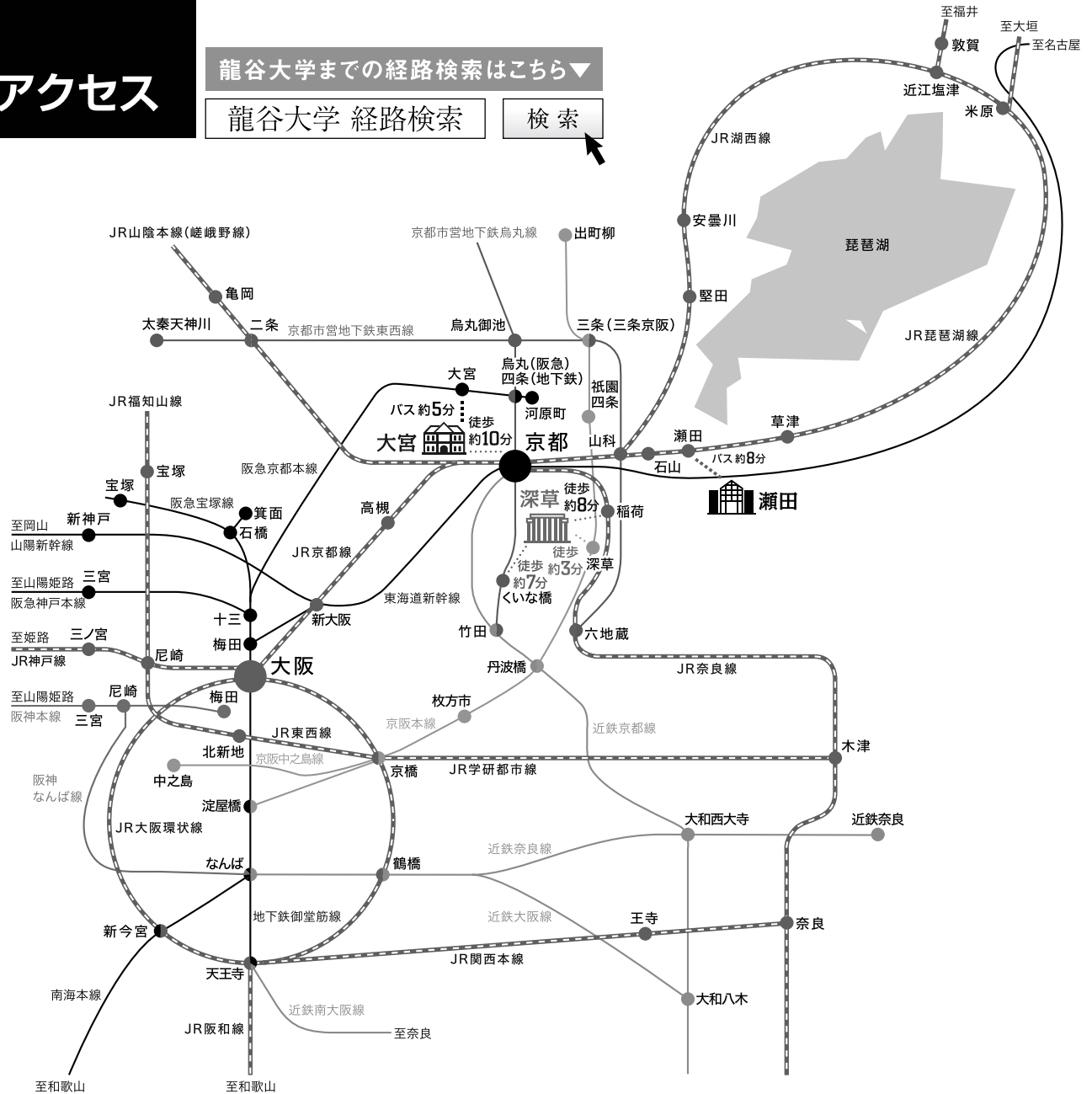
- 注 1. 授業料は単位制となっていますので、在籍料+登録料（1単位あたり登録料×登録単位数）を納入していただきます。
2. 入学年度前期の在籍料は、入学時納入金に含まれています。
3. 登録料は、登録単位数に応じた額となりますので、登録手続後納入していただくことになります。登録料（前期分）の納入期限は6月20日です。
4. 本学出身者のうち、文学部・文学部研究科以外の出身者は、学会入会金2,000円を必要とします。
5. 校友会費（30,000円）は他大学出身者のみ修士課程3年次に納入していただきます。
6. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。
- *登録料は、本表の合計欄には加算していません。

アクセス

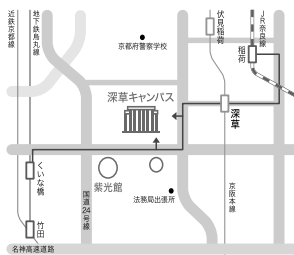
龍谷大学までの経路検索はこちら▼

龍谷大学 経路検索

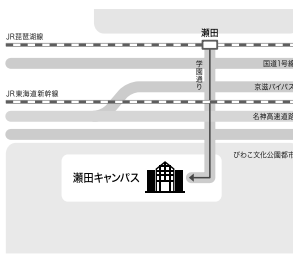
検索



大宮キャンパス
 ●JR東海道本線・近鉄京都線「京都」駅下車、北西へ徒歩約10分(市バス約3分)
 ●京阪本線「七条」駅下車、西へ徒歩約20分
 ●阪急京都線「大宮」駅下車、南へ徒歩約20分(市バス約5分)



深草キャンパス
 ●JR奈良線「福荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
 ●京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約3分
 ●京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分



Seta 瀬田キャンパス
 ●JR琵琶湖線「瀬田」駅下車、産産バス約8分



〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
 TEL:075-645-7887 (入試部ダイヤルイン)
 FAX:075-645-4155

<http://www.ryukoku.ac.jp/>

- 大宮キャンパス**
 - 文 学 部 / 3・4年生
 - 大 学 院 / 文学研究科、実践真宗研究科
- 深草キャンパス**
 - 文 学 部 / 1・2年生
 - 経 済 学 部
 - 法 政 学 部
 - 期 大 学 部
 - 大 学 院 / 法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、法務研究科、政策学研究科
- 瀬田キャンパス**
 - 理 工 学 部
 - 社 会 学 部
 - 国 際 文 化 学 部
 - 大 学 院 / 社会学研究科、理工学研究科、国際文化学研究科